

SQL Server 2017+ レプリケーション用 Microsoft System Center 管理パック ガイド

Microsoft Corporation

公開日: 2017 年 11 月

管理パックに関するフィードバックを Operations Manager チーム ([sqlmpsfeedback@microsoft.com](mailto:sqlmpsfeedback@microsoft.com)) にお送りください。

著作権

このドキュメントは現状有姿で提供されます。このドキュメントに記載されている情報や見解 (URL 等のインターネット Web サイトに関する情報を含む) は、将来予告なしに変更されることがあります。お客様は、その使用に関するリスクを負うものとします。

ここで使用される例は架空のものであり、説明のためだけに使用されます。実在するものとは一切関係ありません。

このドキュメントは、Microsoft 製品の無体財産権に関する法的な権利をお客さまに許諾するものではありません。内部的な参照目的に限り、このドキュメントを複製して使用することができます。内部的な参照目的に限り、このドキュメントを変更することができます。

© 2017 Microsoft Corporation.All rights reserved.

Microsoft、Active Directory、Windows、および Windows Server は、Microsoft Corporation およびその関連会社の商標です。

その他すべての商標は各社が所有しています。

目次

[変更履歴 5](#_Toc504563616)

[開始するには 6](#_Toc504563617)

[サポートされている構成 6](#_Toc504563618)

[管理パックのスコープ 7](#_Toc504563619)

[前提条件 8](#_Toc504563620)

[この管理パックのファイル 8](#_Toc504563621)

[必須の構成 9](#_Toc504563622)

[管理パックの目的 9](#_Toc504563623)

[監視シナリオ 10](#_Toc504563624)

[SQL Server レプリケーション オブジェクトの検出 10](#_Toc504563625)

[ディストリビューターの検出と監視 11](#_Toc504563626)

[パブリッシャーの検出と監視 11](#_Toc504563627)

[サブスクライバーの検出と監視 11](#_Toc504563628)

[パブリケーションの検出と監視 11](#_Toc504563629)

[サブスクリプションの検出と監視 12](#_Toc504563630)

[同じドライブ上の多数のパブリケーション スナップショット 12](#_Toc504563631)

[メンテナンス ジョブの失敗 12](#_Toc504563632)

[ジョブの失敗 13](#_Toc504563633)

[データ フロー 14](#_Toc504563634)

[論理構造 14](#_Toc504563635)

[パブリケーション フロー 14](#_Toc504563636)

[レプリケーション データベース ヘルス 17](#_Toc504563637)

[管理パックの構成 22](#_Toc504563638)

[ベスト プラクティス: カスタマイズ用の管理パックの作成 22](#_Toc504563639)

[管理パックをインポートする方法 23](#_Toc504563640)

[エージェント プロキシ オプションを有効にする方法 23](#_Toc504563641)

[セキュリティの構成 24](#_Toc504563642)

[実行プロファイル 24](#_Toc504563643)

[Operations Manager コンソールでの情報の表示 24](#_Toc504563644)

[バージョンに依存しない (汎用) ビューとダッシュボード 24](#_Toc504563645)

[SQL Server レプリケーション ビュー 25](#_Toc504563646)

[ダッシュボード 26](#_Toc504563647)

[レプリケーション コンポーネント データセンター ダッシュボード 27](#_Toc504563648)

[SQL Server レプリケーション データセンター ダッシュボード 27](#_Toc504563649)

[リンク 27](#_Toc504563650)

[付録: 用語と定義 28](#_Toc504563651)

[付録: 管理パックのビューとダッシュボード 30](#_Toc504563652)

[付録: 管理パックのオブジェクトとワークフロー 32](#_Toc504563653)

[付録: 既知の問題とトラブルシューティング 133](#_Toc504563654)

# SQL Server 2017+ レプリケーション用 Microsoft System Center 管理パック ガイド

このガイドは、バージョン 7.0.0.0 RTM の Microsoft SQL Server 2017+ レプリケーション用管理パックに基づいて作成されました。

## 変更履歴

| **リリース日** | **[変更点]** |
| --- | --- |
| 2017 年 11 月 (バージョン 7.0.0.0 RTM) | * さまざまな機能強化とバグの修正が導入されました。 |
| 2017 年 10 月 (バージョン 6.7.65.0 RC1) | * SQL Server 2017 およびそれ以降のすべての SQL Server バージョンを有効にするために、管理パックが再実装されました。 * 管理パックのファイルがいくつか削除されました。 * 機能、パフォーマンス、および表示文字列に関するさまざまな修正および機能強化が導入されました。 |
| 2017 年 6 月 (バージョン 6.7.60.0 RC0) | * SQL Server 2008-2016 レプリケーション管理パックで提供されるものと同じ正常性モデルを作成するためのさまざまなモニターおよびパフォーマンス ルールが追加されました。 * 管理パック モジュールが改善され、リファクタリングされました。 * いくつかの問題が修正されました。 |
| 2017 年 4 月 (バージョン 6.7.40.0 CTP1) | この管理パックのオリジナル リリース |

## 開始するには

このセクションの内容:

* [サポートされている構成](#_Supported_Configurations)
* [管理パックのスコープ](#_Management_Pack_Scope)
* [前提条件](#_Prerequisites)
* [この管理パックに含まれるファイル](#_Files_in_this)
* [必須の構成](#_Mandatory_Configuration)

### サポートされている構成

この管理パックは、SQL Server 2017 およびそれ以降のすべての SQL Server バージョンで SQL Server レプリケーションを監視するためのものです。System Center Operations Manager の次のバージョン用に設計されています。

* System Center Operations Manager 2012 R2
* System Center Operations Manager 2016

専用の Operations Manager 管理グループは、この管理パックには必要ありません。

次の表に、Microsoft SQL Server レプリケーション用管理パックでサポートされる構成の詳細を示します。

|  |  |
| --- | --- |
| **構成** | **サポート** |
| SQL Server | 64 ビットの SQL Server データベース エンジン + 64 ビットの OS |
| クラスター化されたサーバー | いいえ |
| エージェントレス監視 | はい |
| 仮想環境 | はい |

SQL Server Express のすべてのエディションでサポートされているのは、サブスクライバーとしてのレプリケーションのみであることに注意してください。

詳細については、SQL Server の各エディションでサポートされている機能を参照してください:

<https://msdn.microsoft.com/library/cc645993(v=sql.130).aspx>

### 管理パックのスコープ

Microsoft SQL Server レプリケーション用管理パックでは、次の機能を監視できます。

* SQL Server のレプリケーション

注

この管理パックでサポートされる監視シナリオの完全な一覧については、「[監視シナリオ](#_Monitoring_Scenarios)」セクションを参照してください。

注

詳細情報と、セットアップと構成の詳しい手順については、このガイドの「[管理パックの構成](#_Configure_the_Management)」セクションを参照してください。

注

この管理パックは、SQL Server 用管理パックに依存するため、SQL Server 用管理パックをインストールすることをお勧めします。

### 前提条件

ベスト プラクティスとして、使用しているオペレーティング システム用の Windows Server 管理パックをインポートすることをお勧めします。Windows Server 管理パックは、ディスク容量、ディスク パフォーマンス、メモリ使用率、ネットワーク アダプターの使用率、プロセッサのパフォーマンスなど、SQL Server を実行しているコンピューターのパフォーマンスに影響を与えるオペレーティング システムの側面を監視します。

### この管理パックのファイル

Microsoft SQL Server レプリケーション用管理パックには、次のファイルが含まれています。

| ファイル | **説明** |
| --- | --- |
| Microsoft.SQLServer.Replication.Windows.Discovery.mpb | この管理パックは、Microsoft SQL Server レプリケーション インスタンスを検出します。 |
| Microsoft.SQLServer.Replication.Windows.Monitoring.mpb | この管理パックは、Microsoft SQL Server レプリケーションの監視を有効にします。これは、Microsoft SQL Server Replication (Discovery) 管理パックに依存します。 |
| Microsoft.SQLServer.Replication.Windows.Views.mp | この管理パックには、Microsoft SQL Server レプリケーション管理パックのビューおよびフォルダー構造が含まれます。 |
| Microsoft.SQLServer.Replication.Core.Library.mpb | この管理パックは、SQL Server レプリケーションのすべてのバージョンのコア ライブラリです。  すべての SQL Server レプリケーションの基本クラスとリレーションシップが定義されます。 |
| Microsoft.SQLServer.Replication.Core.Views.mpb | この管理パックは、SQL レプリケーションのすべてのバージョンのコア ライブラリ ビューです。 |
| Microsoft.SQLServer.Visualization.Library.mpb | この管理パックには、SQL Server ダッシュ ボードに必要な基本のビジュアル コンポーネントが含まれます。 |

注

現行のガイドに加え、管理パックの配信には、SQL Server ダッシュボードの構成とカスタマイズに関するガイドも含まれます。

### 必須の構成

Microsoft SQL Server レプリケーション用管理パックを構成するには、次の手順を実行します。

* このガイドの「[管理パックの構成](#_Configure_the_Management)」セクションを参照してください。
* このガイドの「[セキュリティの構成](#_Security_Configuration)」セクションの説明に従って必要なアクセス許可を付与します。
* SQL Server レプリケーションのインスタンスをホストする、サーバーにインストールされているすべてのエージェントでエージェント プロキシ オプションを有効にします。エージェント プロキシ オプションを有効にする方法の詳細については、このガイドの「[エージェント プロキシ オプションを有効にする方法](#_How_to_enable)」セクションを参照してください。
* 管理パックをインポートします。
* SQL Server レプリケーション実行プロファイルを、適切なアクセス許可のあるアカウントに関連付けます。実行プロファイルの構成の詳細については、このガイドの「[実行プロファイルを構成する方法](#_How_to_configure)」セクションを参照してください。

## 管理パックの目的

このセクションの内容:

* [監視シナリオ](#_Monitoring_Scenarios)
* [データ フロー](#_Data_Flow_1)

注

この管理パックに含まれている検出、ルール、モニター、ビュー、およびレポートについての詳細は、このガイドの以下のセクションを参照してください。

* [付録: 管理パックのオブジェクトとワークフロー](#_Appendix:_Management_Pack)
* [付録: 管理パックのビューとダッシュボード](#_Appendix:_Management_Pack_1)

### 監視シナリオ

#### SQL Server レプリケーション オブジェクトの検出

SQL Server レプリケーション用管理パックでは、コンポーネントに関連するすべての SQL Server レプリケーションを検出して、監視することができます。管理パックでサポートされる監視の種類は、エージェント監視、エージェントレス監視および混合監視です。SQL Server 用管理パックで使用される監視の種類を自動的に選択して、適切な SQL Server インスタンスを監視します。管理パックで検出され、監視されるレプリケーション オブジェクトは次のとおりです。

* ディストリビューター
* パブリッシャー
* サブスクライバー (Subscriber)
* パブリケーション
* サブスクリプション

各管理対象のレプリケーション オブジェクトは、さまざまなルールとモニターにより検出および監視されます。レプリケーション オブジェクトを対象とするルールとモニターの完全な一覧については、「[付録: 管理パックのオブジェクトとワークフロー](#_Appendix:_Management_Pack)」セクションを参照してください。

#### ディストリビューターの検出と監視

各管理対象データベース エンジンに対して、さまざまなルールとモニターを使用してディストリビューターが検出され、監視されます。ディストリビューターを対象とするルールとモニターの完全な一覧については、「[付録: 管理パックのオブジェクトとワークフロー](#_Appendix:_Management_Pack)」セクションを参照してください。

詳細については、MSDN ライブラリの「[ディストリビューターおよびパブリッシャーの情報スクリプト](http://msdn.microsoft.com/library/ms151797.aspx)」の記事を参照してください。

#### パブリッシャーの検出と監視

各管理対象データベース エンジンに対して、さまざまなルールとモニターを使用してパブリッシャーが検出され、監視されます。パブリッシャーを対象とするルールとモニターの完全な一覧については、「[付録: 管理パックのオブジェクトとワークフロー](#_Appendix:_Management_Pack)」セクションを参照してください。

詳細については、[MSDN ライブラリの「ディストリビューターおよびパブリッシャーの情報スクリプト」](http://msdn.microsoft.com/library/ms151797.aspx)を参照してください。

#### サブスクライバーの検出と監視

各管理対象データベース エンジンに対して、さまざまなルールとモニターを使用してサブスクライバーが検出され、監視されます。サブスクライバーを対象とするルールとモニターの完全な一覧については、「[付録: 管理パックのオブジェクトとワークフロー](#_Appendix:_Management_Pack)」セクションを参照してください。

#### パブリケーションの検出と監視

各管理対象パブリッシャー インスタンスに対して、さまざまなルールとモニターを使用してパブリケーションが検出され、監視されます。パブリケーションを対象とするルールとモニターの完全な一覧については、「[付録: 管理パックのオブジェクトとワークフロー](#_Appendix:_Management_Pack)」セクションを参照してください。

#### サブスクリプションの検出と監視

各管理対象サブスクライバー インスタンスに対して、さまざまなルールとモニターを使用してサブスクリプションが検出され、監視されます。サブスクリプションを対象とするルールとモニターの完全な一覧については、「[付録: 管理パックのオブジェクトとワークフロー](#_Appendix:_Management_Pack)」セクションを参照してください。

#### 同じドライブ上の多数のパブリケーション スナップショット

多くのパブリケーションのスナップショットで同じメディアを共有している環境では、この管理パックで導入された空き領域の監視によりアラートが頻繁に行われる可能性があります。このような場合は、ハード ドライブの空き領域がしきい値に達すると、パブリケーションのスナップショットについてアラートが生成されます。アラートを抑えるには、[Snapshot Available Space (%) (スナップショットで使用可能な領域 (%))] の空き領域の監視をオフにし、オペレーティング システム管理パックをハード ドライブの空き領域の監視に使用します。

#### メンテナンス ジョブの失敗

レプリケーションでは、"**MSSQL レプリケーション: ディストリビューター アラート ルールについて、保守ジョブが失敗しました**" によって監視される以下のメンテナンス ジョブを使用します。

* データ検証で問題が見つかったサブスクリプションの再初期化
* エージェント履歴のクリーンアップ: ディストリビューション
* ディストリビューションのレプリケーション モニターの状態更新機能
* レプリケーション エージェントの検査
* ディストリビューションのクリーンアップ: ディストリビューション
* 有効期限が切れたサブスクリプションのクリーンアップ

詳細については、[MSDN ライブラリの「レプリケーション メンテナンス ジョブの実行 (SQL Server Management Studio)」](http://msdn.microsoft.com/library/ms151232.aspx)を参照してください。

#### ジョブの失敗

管理パックは、ディストリビューターとサブスクライバーを対象としたモニターを定義します。これらのモニターはレプリケーション エージェントのジョブを監視し、ジョブが次の状態の場合、モニターの状態を変更します。

* ジョブは存在しているが実行されたことはなく、実行予定もない
* ジョブの有効期限が切れている
* ジョブが失敗した
* ジョブが無効されている
* ジョブは有効だがスケジュールが無効化されている
* ジョブの実行に失敗し、スケジュールに従っていない
* ジョブが再試行された
* ジョブが実行されたことがない
* ジョブが実行されたことはないが、スケジュールは存在する
* ジョブは正常に完了したが、スケジュールに従っていない
* ジョブの実行が停止し、スケジュールに従っていない
* 前のジョブ実行に失敗した
* 前のジョブ実行が停止した
* ジョブの状態が不明

レプリケーション エージェントを対象とするルールとモニターの完全な一覧については、「[付録: 管理パックのオブジェクトとワークフロー](#_Appendix:_Management_Pack)」セクションを参照してください。

### データ フロー

次の図に、この管理パックの以下のデータ フローを示します。

* [論理構造](#_Logical_structure)
* [パブリケーション フロー](#_Publication_flow_1)
* [レプリケーション データベース ヘルス](#_Replication_Database_Health_1)

図の内容の詳細については、「[付録: 用語と定義](#_Appendix:_Terms_and)」を参照してください。

#### 論理構造



#### パブリケーション フロー







#### レプリケーション データベース ヘルス

レプリケーション データベース ヘルスは、パブリッシュされたデータベースとしてレプリケーション プロセスに参加しているデータベース用に構築されています。

##### 最上位レベルの構造



##### 仮想ディストリビューターのレベル構造



**レプリケーション エージェント** ファイルは、<*ドライブ*>:\Program Files\Microsoft SQL Server\100\COM の下に格納されています。次の表は、レプリケーション実行可能ファイル名およびファイル名を示しています。パラメーター参照を表示するにはエージェントのリンクをクリックしてください。

|  |  |
| --- | --- |
| **エージェント実行可能ファイル** | **[ファイル名]** |
| [レプリケーション スナップショット エージェント](http://msdn.microsoft.com/library/ms146939.aspx) | snapshot.exe |
| [レプリケーション ディストリビューション エージェント](http://msdn.microsoft.com/library/ms147328.aspx) | distrib.exe |
| [レプリケーション ログ リーダー エージェント](http://msdn.microsoft.com/library/ms146878.aspx) | logread.exe |
| [レプリケーション キュー リーダー エージェント](http://msdn.microsoft.com/library/ms147378.aspx) | qrdrsvc.exe |
| [レプリケーション マージ エージェント](http://msdn.microsoft.com/library/ms147839.aspx) | replmerg.exe |

レプリケーションには、レプリケーション エージェントに加えて、定期的なメンテナンスおよび要求時メンテナンスを実行するさまざまなジョブがあります。

[**レプリケーション メンテナンス ジョブ**](javascript:void(0))

レプリケーションでは、次のジョブを使用して定期的なメンテナンスおよび要求時メンテナンスを実行します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **クリーンアップ ジョブ** | **説明** | **既定のスケジュール** |
| エージェント履歴のクリーンアップ: ディストリビューション | ディストリビューション データベースからレプリケーション エージェントの履歴を削除します。 | 10 分おきに実行されます。 |
| ディストリビューションのクリーンアップ: ディストリビューション | ディストリビューション データベースからレプリケートされたトランザクションを削除します。ディストリビューションの最大保有期間内に同期されなかったサブスクリプションを非アクティブ化します。 | 10 分おきに実行されます。 |
| 有効期限が切れたサブスクリプションのクリーンアップ | パブリケーション データベースから期限切れのサブスクリプションを検出し、削除します。 | 毎日、午前 1 時に実行されます。 |
| データ検証で問題が見つかったサブスクリプションの再初期化 | データ検証に失敗したすべてのサブスクリプションを検出し、再初期化のマークを付けます。次回マージ エージェントまたはディストリビューション エージェントが実行されたときに、サブスクライバーで新しいスナップショットが適用されます。 | 既定のスケジュールはありません。既定では、有効ではありません。 |
| レプリケーション エージェントの検査 | 履歴をログに記録していないレプリケーション エージェントを検出します。ジョブ ステップが失敗した場合に、Microsoft Windows イベント ログに書き込みます。 | 10 分おきに実行されます。 |
| ディストリビューションのレプリケーション モニターの状態更新機能 | レプリケーション モニターで使用される、キャッシュされたクエリを更新します。 | 連続的に実行されます。 |

##### 仮想パブリッシャーのレベル構造



##### 仮想サブスクライバーのレベル構造



## 管理パックの構成

このセクションでは、この管理パックの構成およびチューニングに関するガイダンスを示します。

このセクションの内容:

* [ベスト プラクティス: カスタマイズ用の管理パックの作成](#_Best_Practice:_Create_1)

* [管理パックをインポートする方法](#z3)
* [エージェント プロキシ オプションを有効にする方法](#_How_to_enable)
* [実行プロファイルを構成する方法](#_How_to_configure)
* [セキュリティの構成](#_Security_Configuration)

### ベスト プラクティス: カスタマイズ用の管理パックの作成

Microsoft SQL Server レプリケーション用管理パックは封印されているので、管理パック ファイルの元の設定は一切変更できません。ただし、上書き、新しい監視オブジェクトなどのカスタマイズを作成し、それらを別の管理パックに保存することができます。Operations Manager の既定では、すべてのカスタマイズは既定の管理パックに保存されます。ベスト プラクティスとして、カスタマイズする封印された管理パックごとに、別の管理パックを作成することをお勧めします。

上書きを格納する新しい管理パックを作成することにより、次の利点を得ることができます。

• 封印された管理パック用にカスタマイズした設定を保存するために管理パックを作成するときは、カスタマイズしている管理パックの名前を基に、"Microsoft SQL Server レプリケーション上書き" などの新しい管理パックの名前を付けると便利です。

* 封印された管理パックごとのカスタマイズ設定を保存するために新しい管理パックを作成すると、カスタマイズ設定をテスト環境から運用環境にエクスポートする処理が簡単になります。また、管理パックを削除する前に依存関係を削除する必要があるため、こうすることで管理パックの削除も簡単になります。すべての管理パックのカスタマイズ設定を既定の管理パックに保存しておくと、1 つの管理パックを削除するときにまず既定の管理パックを削除する必要があるため、他の管理パックのカスタマイズ設定も削除されてしまいます。

封印された管理パックと封印されていない管理パックの詳細については、「[管理パックの形式](http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=108355)」を参照してください。管理パックのカスタマイズおよび既定の管理パックの詳細については、「[管理パックについて](http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=108356)」を参照してください。

カスタマイズ用の新しい管理パックを作成する方法

|  |
| --- |
| 1. オペレーション コンソールを開き、[管理] ボタンをクリックします。  2. [管理パック] を右クリックし、[新しい管理パックの作成] をクリックします。  3. 名前を入力して (例: MSSQL レプリケーション MP カスタマイズ)、[次へ] をクリックします。  4. [作成] をクリックします。 |

### 管理パックをインポートする方法

管理パックのインポートの詳細については、「[Operations Manager 管理パックをインポートする方法](http://technet.microsoft.com/library/hh212691.aspx)」をご覧ください。

### エージェント プロキシ オプションを有効にする方法

**エージェント プロキシ オプション**を有効にするには、次の手順を実行します。

1. オペレーション コンソールを開き、[**管理**] ボタンをクリックします。

2. [管理者] ウィンドウで [エージェントで管理] をクリックします。

3. 一覧内のエージェントをダブルクリックします。

4. [セキュリティ] タブで、[このエージェントをプロキシとして動作させ、他のコンピューター上の管理オブジェクトを検出する] をクリックします。

### セキュリティの構成

このセクションでは、この管理パックのセキュリティの構成について説明します。

#### 実行プロファイル

この管理パックでは、SQL Server 用 System Center 管理パックと同じ実行プロファイルを使用します。実行プロファイルの構成の詳細については、対応する管理パック ガイドを参照してください。この管理パックでは今のところ、低い特権のアクセスの構成はサポートされていないことに注意してください。

## Operations Manager コンソールでの情報の表示

### バージョンに依存しない (汎用) ビューとダッシュボード

この管理パックでは、SQL Server 用管理パックの初回リリースで導入された共通のフォルダー構造を使用します。次のビューとダッシュボードは、バージョンに依存せず、SQL Server のすべてのバージョンに関する情報を表示します。

SQL Server レプリケーション

アクティブな警告

すべてのレプリケーション関連オブジェクト

SQL Server レプリケーション データベース ヘルス



概要

SQL Server レプリケーション ビュー

[すべてのレプリケーション関連オブジェクト] ダイアグラム ビューでは、すべての SQL Server レプリケーション オブジェクトとそれらの関係についての情報が提供されます。

[SQL Server レプリケーション データベース ヘルス] の状態ビューでは、パブリッシュされたデータベースとしてレプリケーションに参加しているすべてのデータベースに関する情報が提供されます。このビューでは、パブリッシュされたデータベースごとのダイアグラム ビューを簡単に開くことができます。

### SQL Server レプリケーション ビュー

Microsoft SQL Server レプリケーション用管理パックでは、状態、パフォーマンス、およびアラート ビューの包括的なセットが導入されています。これらは、以下の専用フォルダーに格納されています。

監視

Microsoft SQL Server 2017+

SQL Server レプリケーション

SQL Server レプリケーション ビュー

注

この管理パックでは、SQL Server レプリケーション用の別のフォルダーが提供されます。そのため、他のレプリケーション オブジェクトはこのフォルダーには表示されません。

注

ビューの完全な一覧については、このガイドの「[付録: 管理パックのビューとダッシュボード](#_Appendix:_Management_Pack_1)」セクションを参照してください。

注

一部のビューには、オブジェクトまたはメトリックの非常に長いリストが含まれている場合があります。Operations Manager ツールバーの [スコープ]、[検索]、および [検索] ボタンを使用して、特定のオブジェクトまたはオブジェクトのグループを見つけることができます。詳細については、Operations Manager ヘルプの記事「[Operations Manager コンソールでのデータとオブジェクトの検索](http://technet.microsoft.com/library/hh212890.aspx)」を参照してください。

### ダッシュボード

この管理パックには、SQL Server レプリケーションについての詳細な情報を提供する、豊富なダッシュボード セットが含まれています。それぞれのダッシュボードにはナビゲーション ウィジェットがあり (ダッシュボードの左端の部分にあります)、現在のプレゼンテーションのコンテキストを切り替えるために使用できます。つまり、ナビゲーション ウィジェットで選択されているオブジェクトに基づき、他のウィジェットで表示される情報は変化します。

注

レプリケーション ダッシュボードには、次の 3 つの個人用設定があります。

* [更新頻度] – この設定は、ダッシュボードがクライアント上のデータを更新する頻度を定義します。この設定では、サーバーのメトリックの実際の収集頻度は変更されません。
* [時間間隔] – この設定は、データの表示期間を定義します。[インスタンス] ビューのパフォーマンス ウィジェットは、この設定に依存します。
* [背景色] – すべてのビューの背景色を変更します。

注

グループまたはタイルを追加するには、データセンター ダッシュボードまたはグループのメニュー ボタン  を使用します。

注

タイルを削除または編集するには、タイルを右クリックして、必要なアクションを選択します。

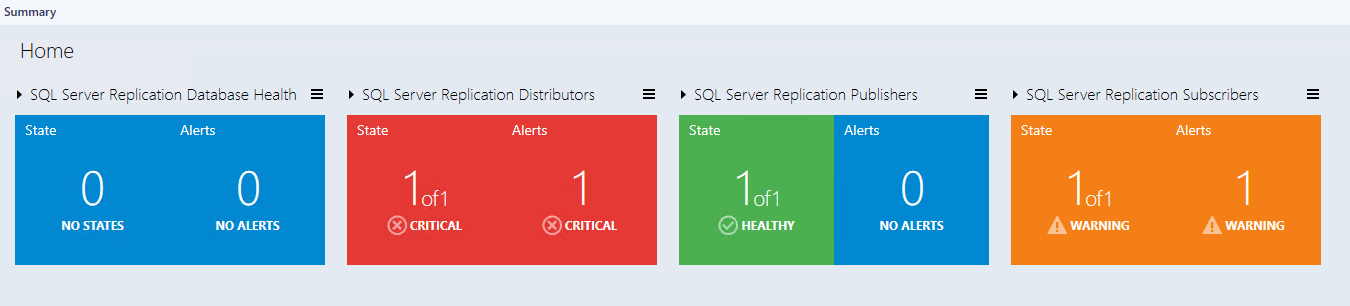
注

背景色、時間間隔、および更新頻度の設定は、データセンター ダッシュボードおよびすべてのインスタンスのダッシュボードに適用され、[データセンター ダッシュボード] メニューから設定することができます。

詳細については、Microsoft SQL Server ダッシュボードに関するガイドを参照してください。

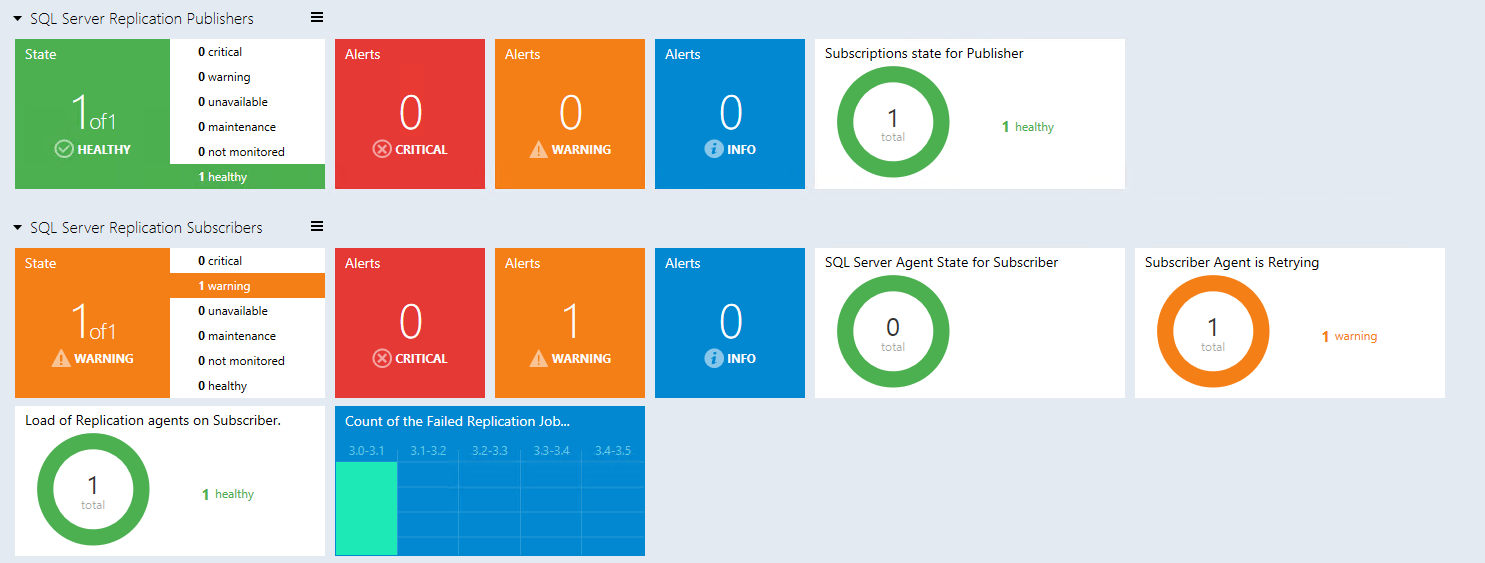
#### レプリケーション コンポーネント データセンター ダッシュボード

レプリケーション コンポーネント データセンター ダッシュボードは、SQL Server のバージョンに依存しないレプリケーションのダッシュボードです。このダッシュボードには、既定では、レプリケーション データベース ヘルス グループ、ディストリビューター グループ、パブリッシャー グループ、およびサブスクライバー グループの 4 つのグループが含まれています。



#### SQL Server レプリケーション データセンター ダッシュボード

SQL Server レプリケーション データセンター ダッシュボードは、SQL Server レプリケーション固有のダッシュボードです。既定では、このダッシュボードには、SQL Server のディストリビューター、パブリッシャー、およびサブスクライバーをすべて含む SQL Server レプリケーション グループのみが含まれています。



## リンク

以下のリンクから、System Center 管理パックに関連する一般的なタスクに関する情報が得られます。

1. [管理パックのライフ サイクル](http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=717826)
2. [Operations Manager 管理パックをインポートする方法](http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=717823)
3. [上書き用管理パックの作成](http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=717827)
4. [実行アカウントと実行プロファイルの管理](http://technet.microsoft.com/library/hh212714.aspx)
5. [Operations Manager 管理パックをエクスポートする方法](http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=717828)
6. [Operations Manager 管理パックを削除する方法](http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=717829)

System Center Operations Manager の無料トレーニングについては、Microsoft Virtual Academy (MVA) の [System Center 2012 R2 Operations Manager 管理パック](http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=717830)に関するコースをご覧ください。

Operations Manager および管理パックに関する質問については、「[System Center Operations Manager コミュニティ フォーラム](http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=179635)」(http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=179635) を参照してください。

重要

Microsoft 以外のサイトのすべての情報と内容は、その Web サイトの所有者またはユーザーによって提供されています。Microsoft はこの Web サイトの情報について、明示、黙示、または法定を問わず、一切保証しません。

## 付録: 用語と定義

| 項目 | 定義 |
| --- | --- |
| ディストリビューター | ディストリビューターは、1 つ以上のパブリッシャーに関連付けられたレプリケーション固有のデータの保存場所として機能する、データベース インスタンスです。各パブリッシャーは、ディストリビューターの単一のデータベース (ディストリビューション データベース) と関連付けられます。多くの場合、単一のデータベース サーバー インスタンスが、パブリッシャーとディストリビューター両方の役割を果たします。これをローカル ディストリビューターと呼びます。パブリッシャーとディストリビューターが別のデータベース サーバー インスタンス上で構成される場合、このディストリビューターをリモート ディストリビューターと呼びます。 |
| ディストリビューション データベース | ディストリビューション データベースには、レプリケーション状態データ、およびパブリケーションに関するメタデータが保存され、場合によっては、パブリッシャーからサブスクライバーへ移動するデータのキューとしても機能します。多くの場合、単一のデータベース サーバー インスタンスが、パブリッシャーとディストリビューター両方の役割を果たします。これをローカル ディストリビューターと呼びます。パブリッシャーとディストリビューターが別のデータベース サーバー インスタンス上で構成される場合、このディストリビューターをリモート ディストリビューターと呼びます。 |
| パブリッシャー | パブリッシャーは、レプリケーションを介して他の場所でデータを使用できるようにするデータベース インスタンスです。パブリッシャーは、1 つ以上のパブリケーションを持つことができ、各パブリケーションには、論理的に関連するレプリケート対象のオブジェクトとデータのセットが定義されています。 |
| パブリケーション | パブリケーションは、1 つのデータベースの 1 つ以上のアーティクルの集合です。このように複数のアーティクルを 1 つのパブリケーションにグループ化すると、1 つの単位としてレプリケートされる論理的に関連するデータとデータベース オブジェクトのセットを簡単に指定できます。パブリケーションには、テーブル、ビュー、ストアド プロシージャ、その他のオブジェクトなどさまざまな種類のアーティクルを含めることができます。テーブルがアーティクルとしてパブリッシュされている場合は、フィルターを使用してサブスクライバーに送信するデータの列と行を制限することができます。 |
| [アーティクル] | アーティクルは、パブリケーションに含まれている 1 つのデータベース オブジェクトを表します。 |
| サブスクライバー (Subscriber) | サブスクライバーは、レプリケートされたデータを受信するデータベース インスタンスです。サブスクライバーは、複数のパブリッシャーおよびパブリケーションからデータを受信できます。また、サブスクライバーは、選択したレプリケーションの種類に応じて、パブリッシャーにデータの変更を戻したりデータを他のサブスクライバーに再パブリッシュしたりできます。 |
| サブスクリプション | サブスクリプションは、サブスクライバーに配信されるパブリケーションのコピーの要求です。サブスクリプションでは、どのパブリケーションをいつ、どこで受信するのかが定義されます。サブスクリプションには、プッシュとプルの 2 つの種類があります。 |
| プッシュ サブスクリプション | プッシュ サブスクリプションは、パブリッシャーで作成および管理されたサブスクリプションです。このサブスクリプションのディストリビューション エージェントまたはマージ エージェントは、ディストリビューターで実行されます。サブスクリプションの詳細については、「[パブリケーションのサブスクライブ](http://msdn.microsoft.com/library/ms151170.aspx)」を参照してください。 |
| プル サブスクリプション | プル サブスクリプションは、各受信側で構成され、管理されているサブスクリプションです。サブスクライバーは、同期処理のスケジュールを管理し、必要な場合は変更をプルできます。サブスクリプションの詳細については、「[パブリケーションのサブスクライブ](http://msdn.microsoft.com/library/ms151170.aspx)」を参照してください。 |
| 仮想ディストリビューター | 仮想ディストリビューターは、レプリケーション データベース ヘルスのダイアグラム ビューで実際のディストリビューターを表す仮想エンティティです。 |
| 仮想パブリッシャー | 仮想パブリッシャーは、レプリケーション データベース ヘルスのダイアグラム ビューで実際のパブリッシャーを表す仮想エンティティです。 |
| 仮想サブスクライバー ホスト | 仮想サブスクライバー ホストは、仮想サブスクライバーが含まれる仮想エンティティです。 |
| 仮想サブスクライバー | 仮想サブスクライバーは、レプリケーション データベース ヘルスのダイアグラム ビューで実際のサブスクライバーを表す仮想エンティティです。 |
| 仮想パブリケーション ホスト | 仮想パブリケーション ホストは、パブリケーションが含まれる仮想エンティティです。 |
| パブリケーション データベース | パブリケーション データベースは、レプリケートされるデータおよびデータベース オブジェクトの供給元として機能する、パブリッシャー上のデータベースです。 |
| 仮想サブスクリプション | 仮想サブスクリプションは、レプリケーション データベース ヘルスのダイアグラム ビューで実際の**サブスクリプション**を表す仮想エンティティです。このエンティティは、ダイアグラムが最初に開かれたときに、すべてのサブスクリプションを非表示にするためのものです。 |

## 付録: 管理パックのビューとダッシュボード

Root

 Microsoft SQL Server 2017+

SQL Server レプリケーション [バージョンに依存しないフォルダー]

アクティブな警告– [ターゲット: レプリケーション警告スコープ グループ、スコープ: SQL Server レプリケーション オブジェクト]

レプリケーションに関連するすべてのオブジェクト – [ターゲット: レプリケーション フロー グループ、スコープ: レプリケーションに関連するすべてのオブジェクト]

SQL Server レプリケーション データベース ヘルス – [ターゲット: ディストリビューション データベース、スコープ: SQL Server のパブリッシュされたデータベース]

概要



SQL Server レプリケーション ビュー [バージョンに依存しないフォルダー]

ディストリビューター – [ターゲット: 汎用ディストリビューター、スコープ: SQL Server レプリケーション ディストリビューター]

パブリケーション – [ターゲット: 汎用パブリケーション**、**スコープ: SQL Server レプリケーション パブリケーション]

パブリッシャー – [ターゲット: 汎用パブリッシャー、スコープ: SQL Server レプリケーション パブリッシャー]

サブスクライバー – [ターゲット: 汎用サブスクライバー、スコープ: SQL Server レプリケーション サブスクライバー]

サブスクリプション – [ターゲット: 汎用サブスクリプション、スコープ: SQL Server レプリケーション サブスクリプション]

 Windows 上の SQL Server レプリケーション [バージョンに依存するフォルダー]

アクティブな警告 – [ターゲット: SQL Server レプリケーション警告スコープ グループ、スコープ: SQL Server レプリケーション オブジェクト]

ディストリビューター – [ターゲット: ディストリビューター SQL、スコープ: SQL Server レプリケーション ディストリビューター]

パブリケーション – [ターゲット: パブリケーション SQL**、**スコープ: SQL Server レプリケーション パブリケーション]

パブリッシャー – [ターゲット: パブリッシャー SQL、スコープ: SQL Server レプリケーション パブリッシャー]

サブスクライバー – [ターゲット: サブスクライバー SQL、スコープ: SQL Server レプリケーション サブスクライバー]

サブスクリプション – [ターゲット: サブスクリプション SQL、スコープ: SQL Server レプリケーション サブスクリプション]

概要

パフォーマンス

ディストリビューター パフォーマンス コレクション – [ターゲット: ディストリビューター SQL、スコープ: パフォーマンス カウンター オブジェクト]

パブリッシャー パフォーマンス コレクション – [ターゲット: パブリッシャー SQL、スコープ: パフォーマンス カウンター オブジェクト]

サブスクライバー パフォーマンス コレクション – [ターゲット: サブスクライバー SQL、スコープ: パフォーマンス カウンター オブジェクト]

## 付録: 管理パックのオブジェクトとワークフロー

以下のセクションでは、Microsoft SQL Server レプリケーション用管理パックで検出されるオブジェクトの種類について説明します。

**ディストリビューター グループ**

ディストリビューター グループは、ディストリビューターを含むグループです。

**ディストリビューター グループ - 検出**

**ディストリビューター グループ メンバーシップの検出**

ディストリビューター グループでのメンバーシップの検出

**ディストリビューター グループ - 依存関係 (ロールアップ) モニター**

**ディストリビューター グループの汎用ディストリビューター構成のロールアップ**

**ディストリビューター グループの汎用ディストリビューター可用性のロールアップ**

**ディストリビューター グループの汎用ディストリビューター セキュリティのロールアップ**

**ディストリビューター グループの汎用ディストリビューター パフォーマンスのロールアップ**

**ディストリビューター インスタンス グループ**

ディストリビューター インスタンス グループは、ディストリビューターのすべての SQL Server インスタンスを含むグループです。

**ディストリビューター インスタンス グループ - 依存関係 (ロールアップ) モニター**

**ディストリビューター インスタンス グループのインスタンス可用性のロールアップ**

**ディストリビューター インスタンス グループの汎用ディストリビューター セキュリティのロールアップ**

**ディストリビューター インスタンス グループのインスタンス構成のロールアップ**

**ディストリビューター インスタンス グループの汎用ディストリビューター パフォーマンスのロールアップ**

**ディストリビューター インスタンス グループの汎用ディストリビューター構成のロールアップ**

**ディストリビューター インスタンス グループのインスタンス パフォーマンスのロールアップ**

**ディストリビューター インスタンス グループのインスタンス セキュリティのロールアップ**

**ディストリビューター インスタンス グループの汎用ディストリビューター可用性のロールアップ**

**汎用パブリケーション**

**汎用パブリケーション - 依存関係 (ロールアップ) モニター**

**データベース構成のロールアップ**

**データベース可用性のロールアップ**

**データベース パフォーマンス (ロールアップ)**

**データベース セキュリティのロールアップ**

**汎用レプリケーション警告スコープ グループ**

汎用レプリケーション警告スコープ グループには、警告を生成する SQL Server のオブジェクトが含まれます。

**汎用レプリケーション警告スコープ グループ - 検出**

**汎用レプリケーション警告スコープ グループの検出**

警告スコープ グループの検出

**汎用サブスクリプション**

共通プロパティの基本コレクション。

**汎用サブスクリプション - 依存関係 (ロールアップ) モニター**

**データベース可用性のロールアップ**

**データベース構成のロールアップ**

**データベース セキュリティのロールアップ**

**データベース パフォーマンス (ロールアップ)**

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: 警告スコープ グループ**

Windows 上の SQL Server レプリケーション警告スコープ グループ

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: 警告スコープ グループ - 検出**

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: 警告スコープ グループの検出**

警告スコープ グループの検出

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: ディストリビューター**

Windows 上の SQL Server ディストリビューターは、1 つ以上のパブリッシャーに関連付けられたレプリケーション固有データのストアとして機能する SQL Server インスタンスです

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: ディストリビューター - 検出**

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: ディストリビューター - 検出**

オブジェクト検出では、Windows 上の Microsoft SQL Server インスタンスのすべてのディストリビューターを検出します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: ディストリビューター - ユニット モニター**

**ディストリビューション エージェントの状態 (すべてのパブリケーションの集約)**

このモニターは、ディストリビューターで処理されるすべてのパブリケーションのディストリビューション エージェントの状態を確認します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 予想ジョブ期間 | ジョブがスケジュールに従って実行されているか確認するために使用されるしきい値 | 15 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | 不明な状態のジョブを表示 | モニターの出力およびアラートのコンテキストに、不明な状態のジョブを含めます。正常性に影響します。 | オプション | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**ディストリビューターのレプリケーション マージ エージェントの状態 (すべてのサブスクリプションの集約)**

このモニターは、ディストリビューターのすべてのサブスクリプションのマージ エージェントの状態を確認します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 予想ジョブ期間 | ジョブがスケジュールに従って実行されているか確認するために使用されるしきい値 | 15 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | 不明な状態のジョブを表示 | モニターの出力およびアラートのコンテキストに、不明な状態のジョブを含めます。正常性に影響します。 | オプション | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**ディストリビューターのレプリケーション スナップショット エージェントの状態 (すべてのパブリケーションの集約)**

このモニターは、ディストリビューターのすべてのパブリケーションのスナップショット エージェント サービスの状態を確認します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 予想ジョブ期間 | ジョブがスケジュールに従って実行されているか確認するために使用されるしきい値 | 15 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | 不明な状態のジョブを表示 | モニターの出力およびアラートのコンテキストに、不明な状態のジョブを含めます。正常性に影響します。 | オプション | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**ディストリビューターのレプリケーション キュー リーダー エージェントの状態 (すべてのパブリケーションの集約)**

このモニターは、ディストリビューター上にあるすべてのパブリケーションのキュー リーダー エージェント サービスの状態を確認します。注: このモニターは、既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 予想ジョブ期間 | ジョブがスケジュールに従って実行されているか確認するために使用されるしきい値 | 15 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | 不明な状態のジョブを表示 | モニターの出力およびアラートのコンテキストに、不明な状態のジョブを含めます。正常性に影響します。 | オプション | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**期限切れサブスクリプションの割合**

期限切れのサブスクリプション モニターの割合のモニター

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | エラーのしきい値 | エラーのしきい値 | 10 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | | 警告しきい値 | 値がこのしきい値を下回る場合、モニターは状態を警告に変更します。 | 0 | |  |
|  |  |  |

**ディストリビューター上の同期されていないサブスクリプション**

このモニターは、特定のディストリビューターに対して同期されていないサブスクリプションを検出します。マージ サブスクリプションではこのモニターが無効になっていることに注意してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | サンプル数 | 測定値が何回しきい値に違反すると状態変更が生じるかを示します。 | 12 | | サブスクリプションごとのしきい値 | サブスクリプションごとのしきい値 | 0 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | | 異常サブスクリプション カウントのしきい値 | 異常サブスクリプション カウントのしきい値 | 0 | |  |
|  |  |  |

**ディストリビューターのレプリケーション ログ リーダー エージェントの状態 (すべてのパブリケーションの集約)**

このモニターは、ディストリビューターで処理されるすべてのパブリケーションのレプリケーション ログ リーダーの状態を確認します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 予想ジョブ期間 | ジョブがスケジュールに従って実行されているか確認するために使用されるしきい値 | 15 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | 不明な状態のジョブを表示 | モニターの出力およびアラートのコンテキストに、不明な状態のジョブを含めます。正常性に影響します。 | オプション | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**ディストリビューターでレプリケーション エージェントが失敗しました**

このモニターは、ディストリビューション エージェント、マージ エージェント、およびスナップショット エージェントのレプリケーション エージェント ジョブが正常な状態にあるかどうかを確認します。いずれかのエージェントが失敗した状態にある場合、このモニターがトリガーされます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 失敗ジョブ カウントのしきい値 | 失敗ジョブ カウントのしきい値 | 1 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | ジョブごとのしきい値 | ジョブごとのしきい値 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**パブリケーション スナップショットで使用可能な領域**

このモニターは、パブリケーション スナップショットで使用できるディスク領域が警告しきい値設定を下回ったときに、警告を報告します。スナップショット ファイルのフォルダー サイズの割合で指定します。このモニターは、使用できる領域が重大なしきい値を下回ったときに、重大アラートを報告します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | エラーのしきい値 | エラーのしきい値 | 10 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | | 警告しきい値 | 警告しきい値 | 20 | |  |
|  |  |  |

**非アクティブ化されたサブスクリプションの割合**

非アクティブ化されたサブスクリプション モニターの割合

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | エラーのしきい値 | エラーのしきい値 | 10 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | | 警告しきい値 | 値がこのしきい値を下回る場合、モニターは状態を警告に変更します。 | 0 | |  |
|  |  |  |

**ディストリビューターのセキュリティ保護可能なリソース構成の状態**

このモニターでは、Windows 上のレプリケーション ディストリビューターのセキュリティ保護可能なリソースへのアクセス構成の状態を確認します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | |  |
|  |  |  |

**ディストリビューターでの保留コマンド**

配信を待機しているディストリビューターに保留コマンドがあります。マージ サブスクリプションではこのモニターが無効になっていることに注意してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | サンプル数 | 測定値が何回しきい値に違反すると状態変更が生じるかを示します。 | 6 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | しきい値 | しきい値 | 5 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**ディストリビューション データベースの可用性**

このモニターは、ディストリビューターのディストリビューション データベースの可用性を確認します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**1 つ以上のレプリケーション エージェントがディストリビューターで再試行しています**

このモニターは、ディストリビューション エージェント、ログ リーダー エージェント、マージ エージェント、キュー リーダー エージェント、またはスナップショット エージェントのいずれかのレプリケーション エージェントで、操作が再試行されているかどうかを確認します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 失敗ジョブ カウントのしきい値 | 失敗ジョブ カウントのしきい値 | 1 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | ジョブごとのしきい値 | ジョブごとのしきい値 | 3 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**レプリケーション エージェントの日ごとの実行時間の合計**

これは、ディストリビューターのレプリケーション エージェント (ディストリビューション、ログ リーダー、マージ、キュー リーダー、およびスナップショット) の日ごとの合計実行時間を監視します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | エラーのしきい値 | エラーのしきい値 | 4 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | 測定期間 (時間) | 測定に使用される時間の長さ (時間) | 24 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | | 警告しきい値 | 値がこのしきい値を下回る場合、モニターは状態を警告に変更します。 | 3 | |  |
|  |  |  |

**サブスクライバーからのディストリビューション データベースの可用性**

このモニターは、サブスクライバーからのディストリビューション データベースの可用性を確認します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | CredSsp が使用可能 | このワークフローの実行前に CredSsp が有効にするかどうかを指定します。実行後も有効なままになります。 | true | | データベース名 | "," 記号で区切られたチェック対象データベースの名前の一覧 |  | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | ポート | wsman サービスのポート | 5985 | | Prefix | wsman サービスの名前 | wsman | | サブスクライバー名 | "|" 記号で区切られたチェック ソースとして使用するサブスクライバーの名前の一覧 |  | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | | [Transport] | wsman サービスにアクセスするためのプロトコルのプレフィックス | http | |  |
|  |  |  |

**ディストリビューターに対する SQL Server エージェントの状態**

このモニターは、SQL Server エージェントがディストリビューターで実行されているかどうかを確認します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 600 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: ディストリビューター - 依存関係 (ロールアップ) モニター**

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: データベース パフォーマンス ロールアップ**

このモニターは、パフォーマンスの状態をデータベースから Windows 上の Microsoft SQL Server レプリケーションにロールアップします

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: ディストリビューター - ルール (アラート)**

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: ディストリビューターアラート ルールについて、保守ジョブが失敗しました**

ディストリビューターアラート ルールについて、保守ジョブが失敗しました

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 2 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: ディストリビューター - ルール (アラート以外)**

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: ディストリビューターに対するディストリビューション エージェント インスタンスの数**

ディストリビューターに対するディストリビューション エージェント インスタンスの数

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: ディストリビューターに対するマージ エージェント インスタンスの数**

ディストリビューターに対するマージ エージェント インスタンスの数。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: ログ リーダー エージェント: 1 秒間に配信されたトランザクション**

ディストリビューターに 1 秒間に配信されたトランザクション数。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: マージ エージェント: 1 秒間にダウンロードされた変更**

パブリッシャーからサブスクライバーに 1 秒間にレプリケートされた行数 (ディストリビューターの集約)。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: ディストリビューターに対するログ リーダー エージェント インスタンスの数**

ディストリビューターに対するログ リーダー エージェント インスタンスの数。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: ログ リーダー エージェント: 1 秒間に配信されたコマンド**

ディストリビューターに 1 秒間に配信されたコマンド数。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: ディストリビューター上の失敗したレプリケーション エージェント ジョブの数**

このルールでは、マージ、ディストリビューションおよびスナップショット エージェントの失敗したレプリケーション エージェント ジョブを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: スナップショット エージェント: 1 秒間に配信されたトランザクション**

ディストリビューターに 1 秒間に配信されたトランザクション数。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: ディストリビューション エージェント: 1 秒間に配信されたコマンド**

サブスクライバーに 1 秒間に配信されたコマンド数。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: ディストリビューション データベース内の保留コマンドの数**

レプリケーションを保留中のディストリビューション データベースのコマンド数。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: レプリケーション スナップショットで使用可能な領域 (%)**

レプリケーション スナップショットをホストしているメディアの空き領域。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: ディストリビューターに対するスナップショット エージェント インスタンスの数**

ディストリビューターに対するスナップショット エージェント インスタンスの数。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: ログ リーダー エージェント: 配信の遅延**

パブリッシャーでトランザクションが適用されてから、ディストリビューターに配信されるまでの現在の経過時間 (ミリ秒)。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: スナップショット エージェント: 1 秒間に配信されたコマンド**

ディストリビューターに 1 秒間に配信されたコマンド数。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: ディストリビューション エージェント: 配信の遅延**

トランザクションがディストリビューターに配信されてから、サブスクライバーで適用されるまでの現在の経過時間 (ミリ秒)。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: マージ エージェント: 1 秒間に発生した競合**

マージ プロセス中に 1 秒間に発生した競合数。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: マージ エージェント: 1 秒間にアップロードされた変更**

サブスクライバーからパブリッシャーに 1 秒間にレプリケートされた行数。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: 非アクティブ化されたサブスクリプション (%)**

ディストリビューターに対する非アクティブ化されたサブスクリプションの割合

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: 期限切れのサブスクリプション (%)**

ディストリビューターに対する期限切れのサブスクリプションの割合

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: ディストリビューターに対するパブリケーションの数**

ディストリビューターに対するパブリケーションの数。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: ディストリビューション エージェント: 1 秒間に配信されたトランザクション**

サブスクライバーに 1 秒間に配信されたトランザクション数。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: ディストリビューターに対するサブスクリプションの数**

ディストリビューターに対するサブスクリプションの数。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: ディストリビューターに対するキュー リーダー インスタンスの数**

ディストリビューターに対するキュー リーダー インスタンスの数。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: ディストリビューターに対する同期されていないサブスクリプションの数**

ディストリビューターに対する同期されていないサブスクリプションの数

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | しきい値 | しきい値 | 0 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: グループ**

Windows 上のすべての SQL Server レプリケーション コンポーネントを含むグループ

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: グループ - 検出**

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: Windows 上の SQL Server レプリケーション グループへの追加**

この検出ルールでは、Windows 上のすべての SQL Server レプリケーション コンポーネントを Windows 上の SQL Server レプリケーション グループに追加します。

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: 監視プール アラート コレクション**

Windows 上の MSSQL レプリケーション監視プール アラート コレクション。このオブジェクトは、SQL Server 監視プールのメンバーであるノードのイベント ログから Windows モジュールのエラーと警告を収集するために使用されます。

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: 監視プール アラート コレクション - 検出**

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: 監視プール アラート コレクションの検出**

このルールでは、Windows 上の MSSQL レプリケーションの監視プール アラート コレクションを検出します。このオブジェクトは、SQL Server 監視プールのメンバーであるノードのイベント ログからモジュールのエラーと警告を収集するために使用されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: ローカル アラート コレクションの検出**

このルールでは、Windows 上の MSSQL レプリケーションのローカル アラート コレクションを検出します。このオブジェクトは、ローカル SQL Server DB エンジン インスタンスを監視する SCOM エージェントのイベント ログからモジュールのエラーと警告を収集するために使用されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: 監視プール アラート コレクション - ルール (アラート)**

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: 検出の警告**

このルールでは検出ワークフローの警告を追跡し、エラー アラートを生成します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | 可 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: 検出エラー**

このルールでは検出ワークフローのエラーを追跡し、エラー アラートを生成します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | 可 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: 監視の警告**

このルールでは監視ワークフローの警告を追跡し、エラー アラートを生成します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | 可 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: 監視エラー**

このルールでは監視ワークフローのエラーを追跡し、エラー アラートを生成します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | 可 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: パブリケーション**

パブリケーションは、1 つのデータベースからの 1 つ以上のアーティクルの集合です。複数のアーティクルを 1 つのパブリケーションにグループ化することで、1 つの単位としてレプリケートされる論理的に関連するデータベース データとオブジェクトのセットを簡単に指定できるようになります。

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: パブリケーション - 検出**

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: パブリケーションの検出**

オブジェクト検出では、Windows 上の Microsoft SQL Server のパブリッシャーのすべてのパブリケーションが検出されます

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: パブリケーション - ユニット モニター**

**レプリケーション スナップショット エージェントの状態**

このモニターは、パブリケーションのレプリケーション スナップショット エージェント サービスの状態を確認します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 予想ジョブ期間 | ジョブがスケジュールに従って実行されているか確認するために使用されるしきい値 | 15 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | 不明な状態のジョブを表示 | モニターの出力およびアラートのコンテキストに、不明な状態のジョブを含めます。正常性に影響します。 | オプション | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**パブリケーションに対するレプリケーション ログ リーダー エージェントの状態**

このモニターは、パブリケーションに対するレプリケーション ログ リーダー エージェント サービスの状態を確認します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 予想ジョブ期間 | ジョブがスケジュールに従って実行されているか確認するために使用されるしきい値 | 15 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | 不明な状態のジョブを表示 | モニターの出力およびアラートのコンテキストに、不明な状態のジョブを含めます。正常性に影響します。 | オプション | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**すべてのサブスクリプションがパブリケーションに関して同期しています**

すべてのサブスクリプションが同期しています

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: パブリッシャー**

Windows 上の SQL Server パブリッシャーは、レプリケーションによって他の場所でデータを使用可能にする Windows 上の SQL インスタンスです。

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: パブリッシャー - 検出**

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: パブリッシャーの検出**

オブジェクト検出では、Windows 上の Microsoft SQL Server のインスタンスのパブリッシャーが検出されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: パブリッシャー - ユニット モニター**

**パブリッシャーに対する SQL Server エージェントの状態**

このモニターは、SQL Server エージェントがパブリッシャーで実行されているかどうかを確認します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 600 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**パブリッシャーに対するサブスクリプションの状態**

このモニターは、パブリケーションに非アクティブのサブスクリプションが存在するかどうかを確認します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**パブリッシャーのセキュリティ保護可能なリソース構成の状態**

このモニターは、Windows 上のレプリケーション パブリッシャーのセキュリティ保護可能なリソースへのアクセス構成の状態を確認します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: パブリッシャー - ルール (アラート以外)**

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: パブリッシャーに対するパブリケーションの数**

パブリッシャーに対するパブリケーションの数。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: サブスクライバー**

Windows 上の SQL Server サブスクライバーは、レプリケートされたデータを受信する Windows 上の SQL インスタンスです。

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: サブスクライバー - 検出**

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: サブスクライバーの検出**

オブジェクト検出では、Windows 上の Microsoft SQL Server のインスタンスのサブスクライバーが検出されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: サブスクライバー - ユニット モニター**

**サブスクライバーでのレプリケーション エージェントの負荷**

サブスクライバー上のレプリケーション エージェント (配布とマージ) の負荷。SQL Server エージェントは SQL Server Express Edition では使用できないため、このモニターはこのようなエディションのインスタンスでは無効になることに注意してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | エラーのしきい値 | エラーのしきい値 | 4 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | 測定期間 (時間) | 測定に使用される時間の長さ (時間) | 24 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | | 警告しきい値 | 値がこのしきい値を下回る場合、モニターは状態を警告に変更します。 | 3 | |  |
|  |  |  |

**サブスクライバー エージェントが再試行中**

サブスクライバー エージェント (ディストリビューション、ログ リーダー、マージ、キュー リーダー、およびスナップショット) がモニターを再試行しています。SQL Server エージェントの Windows サービスは、SQL Server Express のいずれのエディションでもサポートされていないことに注意してください。そのため、このモニターは SQL Server Express に対しては適用されません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 失敗ジョブ カウントのしきい値 | 失敗ジョブ カウントのしきい値 | 1 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | ジョブごとのしきい値 | ジョブごとのしきい値 | 3 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**サブスクライバーに対する SQL Server エージェントの状態**

このモニターは、SQL Server エージェントがサブスクライバーで実行されているかどうかを確認します。SQL Server エージェントの Windows サービスは、SQL Server Express のいずれのエディションでもサポートされていないことに注意してください。そのため、このモニターは SQL Server Express に対しては適用されません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 600 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**サブスクライバーのセキュリティ保護可能なリソース構成の状態**

このモニターは、Windows 上のレプリケーション サブスクライバーのセキュリティ保護可能なリソースへのアクセス構成の状態を確認します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: サブスクライバー - ルール (アラート以外)**

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: サブスクライバーに対する失敗したレプリケーション ジョブの数**

サブスクライバーに対する失敗したレプリケーション ジョブの数

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: サブスクライバーに対するサブスクリプションの数**

サブスクライバーに対するサブスクリプションの数。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: サブスクリプション**

Windows 上の SQL Server サブスクリプションは、サブスクライバーに配信されるパブリケーションのコピーの要求です。

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: サブスクリプション - 検出**

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: サブスクリプションの検出**

オブジェクト検出では、Windows 上の Microsoft SQL Server のサブスクライバーのすべてのサブスクリプションが検出されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: サブスクリプション - ユニット モニター**

**サブスクリプションに対するレプリケーション マージ エージェントの状態**

このモニターは、サブスクリプションに対するレプリケーション マージ エージェント サービスの状態を確認します。SQL Server エージェントの Windows サービスは、SQL Server Express のいずれのエディションでもサポートされていないことに注意してください。そのため、このモニターは SQL Server Express に対しては適用されません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 予想ジョブ期間 | ジョブがスケジュールに従って実行されているか確認するために使用されるしきい値 | 15 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | 不明な状態のジョブを表示 | モニターの出力およびアラートのコンテキストに、不明な状態のジョブを含めます。正常性に影響します。 | オプション | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**サブスクリプションの保留コマンド**

ディストリビューターで、特定のサブスクリプションへの配信を待機している保留中のコマンドが存在します。マージ サブスクリプションではこのモニターが無効になっていることに注意してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | サンプル数 | 測定値が何回しきい値に違反すると状態変更が生じるかを示します。 | 6 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | しきい値 | しきい値 | 20 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**サブスクリプションに対するディストリビューション エージェントの状態**

このモニターは、サブスクリプションに対するレプリケーション ディストリビューション エージェント サービスの状態を確認します。SQL Server エージェントの Windows サービスは、SQL Server Express のいずれのエディションでもサポートされていないことに注意してください。そのため、このモニターは SQL Server Express に対しては適用されません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 予想ジョブ期間 | ジョブがスケジュールに従って実行されているか確認するために使用されるしきい値 | 15 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | 不明な状態のジョブを表示 | モニターの出力およびアラートのコンテキストに、不明な状態のジョブを含めます。正常性に影響します。 | オプション | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**サブスクリプション待機時間**

このモニターは、サブスクライバーへの配信を待機しているディストリビューション データベースのコマンドの遅延を確認します。マージ サブスクリプションではこのモニターが無効になっていることに注意してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | しきい値 | しきい値 | 60 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: サブスクリプション - ルール (アラート以外)**

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: 保留コマンドの数**

サブスクリプションのディストリビューション データベースでレプリケーションを保留中のコマンド数。マージ サブスクリプションではこのルールが無効になっていることに注意してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**MSSQL: 汎用レプリケーション警告スコープ グループ**

SQL Server レプリケーション警告スコープ グループには、警告を生成する SQL Server オブジェクトが含まれます。

**MSSQL: 汎用レプリケーション警告スコープ グループ - 検出**

**MSSQL: レプリケーション警告スコープ グループの検出**

警告スコープ グループの検出

**MSSQL: 汎用レプリケーション警告スコープ グループ**

汎用レプリケーション警告スコープ グループには、警告を生成する SQL Server のオブジェクトが含まれます。

**MSSQL: 汎用レプリケーション警告スコープ グループ - 検出**

**MSSQL: レプリケーション警告スコープ グループの検出**

警告スコープ グループの検出

**MSSQL: 汎用レプリケーション データベース ヘルス**

このクラスは、1 つのパブリッシャー データベースにリンクされているパブリッシャー、ディストリビューターおよびサブスクライバーをグループ化するために使用される動的なアプリケーションです。

**MSSQL: 汎用レプリケーション データベース ヘルス - 検出**

**MSSQL: 汎用レプリケーション データベース ヘルスの検出**

オブジェクト検出は、パブリッシュされたデータベースに関連する集計正常性コンテナーおよびオブジェクトの関係を検出します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | タイムアウト (秒) | 15 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | |  |
|  |  |  |

**MSSQL: 汎用レプリケーション データベース ヘルス - 依存関係 (ロールアップ) モニター**

**仮想ディストリビューター構成のロールアップ**

仮想ディストリビューター構成のロールアップ

**仮想ディストリビューター パフォーマンスのロールアップ**

仮想ディストリビューター パフォーマンスのロールアップ

**仮想パブリッシャー可用性のロールアップ**

仮想パブリッシャー可用性のロールアップ

**仮想パブリッシャー構成のロールアップ**

仮想パブリッシャー構成のロールアップ

**仮想ディストリビューター可用性のロールアップ**

仮想ディストリビューター可用性のロールアップ

**仮想パブリッシャー パフォーマンスのロールアップ**

仮想パブリッシャー パフォーマンスのロールアップ

**仮想サブスクライバー ホスト可用性のロールアップ**

仮想サブスクライバー ホスト可用性のロールアップ

**仮想パブリッシャー セキュリティのロールアップ**

仮想パブリッシャー セキュリティのロールアップ

**仮想サブスクライバー ホスト セキュリティのロールアップ**

仮想サブスクライバー ホスト セキュリティのロールアップ

**仮想ディストリビューター セキュリティのロールアップ**

仮想ディストリビューター セキュリティのロールアップ

**仮想サブスクライバー ホスト パフォーマンスのロールアップ**

仮想サブスクライバー ホスト パフォーマンスのロールアップ

**仮想サブスクライバー ホスト構成のロールアップ**

仮想サブスクライバー ホスト構成のロールアップ

**MSSQL: 汎用レプリケーション ディストリビューター グループ**

ディストリビューター グループはディストリビューターのグループです。

**MSSQL: 汎用レプリケーション ディストリビューター グループ - 検出**

**MSSQL: 汎用レプリケーション ディストリビューター グループ メンバーシップの検出**

ディストリビューター グループでのメンバーシップの検出

**MSSQL: 汎用レプリケーション ディストリビューター グループ - 依存関係 (ロールアップ) モニター**

**ディストリビューター グループの汎用ディストリビューター パフォーマンスのロールアップ**

ディストリビューター グループの汎用ディストリビューター パフォーマンスのロールアップ

**ディストリビューター グループの汎用ディストリビューター構成のロールアップ**

ディストリビューター グループの汎用ディストリビューター構成のロールアップ

**ディストリビューター グループの汎用ディストリビューター可用性のロールアップ**

ディストリビューター グループの汎用ディストリビューター可用性のロールアップ

**ディストリビューター グループの汎用ディストリビューター セキュリティのロールアップ**

ディストリビューター グループの汎用ディストリビューター セキュリティのロールアップ

**MSSQL: 汎用レプリケーション ディストリビューター インスタンス グループ**

ディストリビューター インスタンス グループは、ディストリビューターのすべての SQL Server インスタンスを含むグループです。

**MSSQL: 汎用レプリケーション ディストリビューター インスタンス グループ - 依存関係 (ロールアップ) モニター**

**ディストリビューター インスタンス グループのインスタンス構成のロールアップ**

ディストリビューター インスタンス グループのインスタンス構成のロールアップ

**ディストリビューター インスタンス グループのインスタンス可用性のロールアップ**

ディストリビューター インスタンス グループのインスタンス可用性のロールアップ

**ディストリビューター インスタンス グループのインスタンス セキュリティのロールアップ**

ディストリビューター インスタンス グループのインスタンス セキュリティのロールアップ

**ディストリビューター インスタンス グループの汎用ディストリビューター構成のロールアップ**

ディストリビューター インスタンス グループの汎用ディストリビューター構成のロールアップ

**ディストリビューター インスタンス グループのインスタンス パフォーマンスのロールアップ**

ディストリビューター インスタンス グループのインスタンス パフォーマンスのロールアップ

**ディストリビューター インスタンス グループの汎用ディストリビューター パフォーマンスのロールアップ**

ディストリビューター インスタンス グループの汎用ディストリビューター パフォーマンスのロールアップ

**ディストリビューター インスタンス グループの汎用ディストリビューター可用性のロールアップ**

ディストリビューター インスタンス グループの汎用ディストリビューター可用性のロールアップ

**ディストリビューター インスタンス グループの汎用ディストリビューター セキュリティのロールアップ**

ディストリビューター インスタンス グループの汎用ディストリビューター セキュリティのロールアップ

**MSSQL: 汎用レプリケーション フロー グループ**

このグループは、パブリッシャー、ディストリビューターおよびサブスクライバーのコレクションです。これには、System Center Operations Manager データベースにあるレプリケーションと関係するすべてのオブジェクトが含まれます。

**MSSQL: 汎用レプリケーション フロー グループ - 検出**

**MSSQL: 汎用レプリケーション フロー グループの検出**

レプリケーション フロー グループでのメンバーシップの検出

**MSSQL: 汎用レプリケーション フロー グループ - 依存関係 (ロールアップ) モニター**

**レプリケーション フロー グループのディストリビューター グループ可用性のロールアップ**

レプリケーション フロー グループのディストリビューター グループ可用性のロールアップ

**レプリケーション フロー グループのサブスクライバー グループ可用性のロールアップ**

レプリケーション フロー グループのサブスクライバー グループ可用性のロールアップ

**レプリケーション フロー グループのパブリッシャー グループ構成のロールアップ**

レプリケーション フロー グループのパブリッシャー グループ構成のロールアップ

**レプリケーション フロー グループのパブリッシャー グループ可用性のロールアップ**

レプリケーション フロー グループのパブリッシャー グループ可用性のロールアップ

**レプリケーション フロー グループのパブリッシャー インスタンス グループ可用性のロールアップ**

レプリケーション フロー グループのパブリッシャー インスタンス グループ可用性のロールアップ

**レプリケーション フロー グループのサブスクライバー グループ構成のロールアップ**

レプリケーション フロー グループのサブスクライバー グループ構成のロールアップ

**レプリケーション フロー グループのディストリビューター インスタンス グループ可用性のロールアップ**

レプリケーション フロー グループのディストリビューター インスタンス グループ可用性のロールアップ

**レプリケーション フロー グループのディストリビューター インスタンス グループ セキュリティのロールアップ**

レプリケーション フロー グループのディストリビューター インスタンス グループ セキュリティのロールアップ

**レプリケーション フロー グループのサブスクライバー インスタンス グループ構成のロールアップ**

レプリケーション フロー グループのサブスクライバー インスタンス グループ構成のロールアップ

**レプリケーション フロー グループのディストリビューター グループ パフォーマンスのロールアップ**

レプリケーション フロー グループのディストリビューター グループ パフォーマンスのロールアップ

**レプリケーション フロー グループのサブスクライバー インスタンス グループ可用性のロールアップ**

レプリケーション フロー グループのサブスクライバー インスタンス グループ可用性のロールアップ

**レプリケーション フロー グループのサブスクライバー グループ セキュリティのロールアップ**

レプリケーション フロー グループのサブスクライバー グループ セキュリティのロールアップ

**レプリケーション フロー グループのディストリビューター インスタンス グループ構成のロールアップ**

レプリケーション フロー グループのディストリビューター インスタンス グループ構成のロールアップ

**レプリケーション フロー グループのサブスクライバー インスタンス グループ セキュリティのロールアップ**

レプリケーション フロー グループのサブスクライバー インスタンス グループ セキュリティのロールアップ

**レプリケーション フロー グループのパブリッシャー インスタンス グループ セキュリティのロールアップ**

レプリケーション フロー グループのパブリッシャー インスタンス グループ セキュリティのロールアップ

**レプリケーション フロー グループのディストリビューター グループ構成のロールアップ**

レプリケーション フロー グループのディストリビューター グループ構成のロールアップ

**レプリケーション フロー グループのサブスクライバー インスタンス グループ パフォーマンスのロールアップ**

レプリケーション フロー グループのサブスクライバー インスタンス グループ パフォーマンスのロールアップ

**レプリケーション フロー グループのサブスクライバー グループ パフォーマンスのロールアップ**

レプリケーション フロー グループのサブスクライバー グループ パフォーマンスのロールアップ

**レプリケーション フロー グループのパブリッシャー インスタンス グループ構成のロールアップ**

レプリケーション フロー グループのパブリッシャー インスタンス グループ構成のロールアップ

**レプリケーション フロー グループのディストリビューター インスタンス グループ パフォーマンスのロールアップ**

レプリケーション フロー グループのディストリビューター インスタンス グループ パフォーマンスのロールアップ

**レプリケーション フロー グループのパブリッシャー グループ セキュリティのロールアップ**

レプリケーション フロー グループのパブリッシャー グループ セキュリティのロールアップ

**レプリケーション フロー グループのパブリッシャー インスタンス グループ パフォーマンスのロールアップ**

レプリケーション フロー グループのパブリッシャー インスタンス グループ パフォーマンスのロールアップ

**レプリケーション フロー グループのディストリビューター グループ セキュリティのロールアップ**

レプリケーション フロー グループのディストリビューター グループ セキュリティのロールアップ

**レプリケーション フロー グループのパブリッシャー グループ パフォーマンスのロールアップ**

レプリケーション フロー グループのパブリッシャー グループ パフォーマンスのロールアップ

**MSSQL: 汎用レプリケーション パブリケーション**

汎用パブリケーション。

**MSSQL: 汎用レプリケーション パブリケーション - 依存関係 (ロールアップ) モニター**

**データベース可用性のロールアップ**

データベース可用性のロールアップ

**データベース パフォーマンス (ロールアップ)**

データベース パフォーマンス (ロールアップ)

**データベース構成のロールアップ**

データベース構成のロールアップ

**データベース セキュリティのロールアップ**

データベース セキュリティのロールアップ

**MSSQL: 汎用レプリケーション パブリッシャー グループ**

パブリッシャー グループはパブリッシャーのグループです。

**MSSQL: 汎用レプリケーション パブリッシャー グループ - 検出**

**MSSQL: 汎用レプリケーション パブリッシャー グループの検出**

パブリッシャー グループでのメンバーシップの検出

**MSSQL: 汎用レプリケーション パブリッシャー グループ - 依存関係 (ロールアップ) モニター**

**パブリッシャー グループの汎用パブリッシャー可用性のロールアップ**

パブリッシャー グループの汎用パブリッシャー可用性のロールアップ

**パブリッシャー グループの汎用パブリッシャー セキュリティのロールアップ**

パブリッシャー グループの汎用パブリッシャー セキュリティのロールアップ

**パブリッシャー グループの汎用パブリッシャー パフォーマンスのロールアップ**

パブリッシャー グループの汎用パブリッシャー パフォーマンスのロールアップ

**パブリッシャー グループの汎用パブリッシャー構成のロールアップ**

パブリッシャー グループの汎用パブリッシャー構成のロールアップ

**MSSQL: 汎用レプリケーション パブリッシャー インスタンス グループ**

パブリッシャー インスタンス グループは、パブリッシャーのすべての SQL Server インスタンスを含むグループです。

**MSSQL: 汎用レプリケーション パブリッシャー インスタンス グループ - 依存関係 (ロールアップ) モニター**

**パブリッシャー インスタンス グループのインスタンス構成のロールアップ**

パブリッシャー インスタンス グループのインスタンス構成のロールアップ

**パブリッシャー インスタンス グループのインスタンス パフォーマンスのロールアップ**

パブリッシャー インスタンス グループのインスタンス パフォーマンスのロールアップ

**パブリッシャー インスタンス グループのインスタンス セキュリティのロールアップ**

パブリッシャー インスタンス グループのインスタンス セキュリティのロールアップ

**パブリッシャー インスタンス グループのインスタンス可用性のロールアップ**

パブリッシャー インスタンス グループのインスタンス可用性のロールアップ

**パブリッシャー インスタンス グループの汎用パブリッシャー パフォーマンスのロールアップ**

パブリッシャー インスタンス グループの汎用パブリッシャー パフォーマンスのロールアップ

**パブリッシャー インスタンス グループの汎用パブリッシャー可用性のロールアップ**

パブリッシャー インスタンス グループの汎用パブリッシャー可用性のロールアップ

**パブリッシャー インスタンス グループの汎用パブリッシャー構成のロールアップ**

パブリッシャー インスタンス グループの汎用パブリッシャー構成のロールアップ

**パブリッシャー インスタンス グループの汎用パブリッシャー セキュリティのロールアップ**

パブリッシャー インスタンス グループの汎用パブリッシャー セキュリティのロールアップ

**MSSQL: 汎用レプリケーション シード**

Microsoft SQL Server レプリケーション シードのインストール。

**MSSQL: 汎用レプリケーション シード - 検出**

**Windows 上の MSSQL レプリケーション: Windows 上の SQL Server レプリケーション (シード) の検出**

この検出ルールでは、Windows 上の Microsoft SQL Server レプリケーション データベース ヘルスのシードを検出します。このオブジェクトは、特定のサーバー コンピューターに、レプリケーション ディストリビューターが構成された Windows 上の Microsoft SQL Server のインストールが含まれていることを示します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | |  |
|  |  |  |

**MSSQL: 汎用レプリケーション サブスクライバー グループ**

サブスクライバー グループはすべてのサブスクライバーを含むグループです。

**MSSQL: 汎用レプリケーション サブスクライバー グループ - 検出**

**MSSQL: 汎用レプリケーション サブスクライバー グループ メンバーシップの検出**

サブスクライバー グループでのメンバーシップの検出

**MSSQL: 汎用レプリケーション サブスクライバー グループ - 依存関係 (ロールアップ) モニター**

**サブスクライバー グループの汎用サブスクライバー セキュリティのロールアップ**

サブスクライバー グループの汎用サブスクライバー セキュリティのロールアップ

**サブスクライバー グループの汎用サブスクライバー可用性のロールアップ**

サブスクライバー グループの汎用サブスクライバー可用性のロールアップ

**サブスクライバー グループの汎用サブスクライバー パフォーマンスのロールアップ**

サブスクライバー グループの汎用サブスクライバー パフォーマンスのロールアップ

**サブスクライバー グループの汎用サブスクライバー構成のロールアップ**

サブスクライバー グループの汎用サブスクライバー構成のロールアップ

**MSSQL: 汎用レプリケーション サブスクライバー インスタンス グループ**

サブスクライバー インスタンス グループは、サブスクライバーのすべての SQL Server インスタンスを含むグループです。

**MSSQL: 汎用レプリケーション サブスクライバー インスタンス グループ - 依存関係 (ロールアップ) モニター**

**サブスクライバー インスタンス グループのインスタンス可用性のロールアップ**

サブスクライバー インスタンス グループのインスタンス可用性のロールアップ

**サブスクライバー インスタンス グループの汎用サブスクライバー可用性のロールアップ**

サブスクライバー インスタンス グループの汎用サブスクライバー可用性のロールアップ

**サブスクライバー インスタンス グループのインスタンス構成のロールアップ**

サブスクライバー インスタンス グループのインスタンス構成のロールアップ

**サブスクライバー インスタンス グループの汎用サブスクライバー パフォーマンスのロールアップ**

サブスクライバー インスタンス グループの汎用サブスクライバー パフォーマンスのロールアップ

**サブスクライバー インスタンス グループのインスタンス パフォーマンスのロールアップ**

サブスクライバー インスタンス グループのインスタンス パフォーマンスのロールアップ

**サブスクライバー インスタンス グループの汎用サブスクライバー セキュリティのロールアップ**

サブスクライバー インスタンス グループの汎用サブスクライバー セキュリティのロールアップ

**サブスクライバー インスタンス グループの汎用サブスクライバー構成のロールアップ**

サブスクライバー インスタンス グループの汎用サブスクライバー構成のロールアップ

**サブスクライバー インスタンス グループのインスタンス セキュリティのロールアップ**

サブスクライバー インスタンス グループのインスタンス セキュリティのロールアップ

**MSSQL: 汎用レプリケーション サブスクリプション**

汎用サブスクリプション。

**MSSQL: 汎用レプリケーション サブスクリプション - 依存関係 (ロールアップ) モニター**

**データベース セキュリティのロールアップ**

データベース セキュリティのロールアップ

**データベース構成のロールアップ**

データベース構成のロールアップ

**データベース パフォーマンス (ロールアップ)**

データベース パフォーマンス (ロールアップ)

**データベース可用性のロールアップ**

データベース可用性のロールアップ

**MSSQL: 汎用レプリケーション仮想警告スコープ グループ**

仮想レプリケーション警告スコープ グループには、警告を生成する仮想レプリケーション オブジェクトが含まれます。

**MSSQL: 汎用レプリケーション仮想警告スコープ グループ - 検出**

**MSSQL: 汎用レプリケーション仮想警告スコープ グループの検出**

仮想警告スコープ グループの検出

**MSSQL: 汎用レプリケーション仮想ディストリビューター**

仮想ディストリビューター。

**MSSQL: 汎用レプリケーション仮想ディストリビューター - 検出**

**MSSQL: 汎用レプリケーション データベース ヘルスの検出**

オブジェクト検出は、パブリッシュされたデータベースに関連する集計正常性コンテナーおよびオブジェクトの関係を検出します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | タイムアウト (秒) | 15 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | |  |
|  |  |  |

**MSSQL: 汎用レプリケーション仮想ディストリビューター - ユニット モニター**

**ディストリビューターに関して検出されたすべてのパブリッシャー**

このモニターは、ディストリビューターに関してすべてのパブリッシャーが検出されたことを確認します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**MSSQL: 汎用レプリケーション仮想ディストリビューター - 依存関係 (ロールアップ) モニター**

**汎用ディストリビューター構成のロールアップ**

汎用ディストリビューター構成のロールアップ

**汎用ディストリビューター セキュリティのロールアップ**

汎用ディストリビューター セキュリティのロールアップ

**汎用ディストリビューター可用性のロールアップ**

汎用ディストリビューター可用性のロールアップ

**データベース構成のロールアップ**

データベース構成のロールアップ

**データベース セキュリティのロールアップ**

データベース セキュリティのロールアップ

**データベース可用性のロールアップ**

データベース可用性のロールアップ

**システム エンティティ セキュリティのロールアップ**

システム エンティティ セキュリティのロールアップ

**システム エンティティ パフォーマンスのロールアップ**

システム エンティティ パフォーマンスのロールアップ

**システム エンティティ可用性のロールアップ**

システム エンティティ可用性のロールアップ

**データベース パフォーマンス (ロールアップ)**

データベース パフォーマンス (ロールアップ)

**汎用ディストリビューター パフォーマンスのロールアップ**

汎用ディストリビューター パフォーマンスのロールアップ

**システム エンティティ構成のロールアップ**

システム エンティティ構成のロールアップ

**MSSQL: 汎用レプリケーション仮想パブリケーション ホスト**

仮想パブリケーション ホスト。

**MSSQL: 汎用レプリケーション仮想パブリケーション ホスト - 検出**

**MSSQL: 汎用レプリケーション データベース ヘルスの検出**

オブジェクト検出は、パブリッシュされたデータベースに関連する集計正常性コンテナーおよびオブジェクトの関係を検出します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | タイムアウト (秒) | 15 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | |  |
|  |  |  |

**MSSQL: 汎用レプリケーション仮想パブリケーション ホスト - 依存関係 (ロールアップ) モニター**

**汎用パブリケーション パフォーマンスのロールアップ**

汎用パブリケーション パフォーマンスのロールアップ

**汎用パブリケーション構成のロールアップ**

汎用パブリケーション構成のロールアップ

**汎用パブリケーション セキュリティのロールアップ**

汎用パブリケーション セキュリティのロールアップ

**汎用パブリケーション可用性のロールアップ**

汎用パブリケーション可用性のロールアップ

**MSSQL: 汎用レプリケーション仮想パブリッシャー**

仮想パブリッシャー。

**MSSQL: 汎用レプリケーション仮想パブリッシャー - 検出**

**MSSQL: 汎用レプリケーション データベース ヘルスの検出**

オブジェクト検出は、パブリッシュされたデータベースに関連する集計正常性コンテナーおよびオブジェクトの関係を検出します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | タイムアウト (秒) | 15 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | |  |
|  |  |  |

**MSSQL: 汎用レプリケーション仮想パブリッシャー - 依存関係 (ロールアップ) モニター**

**汎用パブリケーション構成のロールアップ**

汎用パブリケーション構成のロールアップ

**データベース パフォーマンス (ロールアップ)**

データベース パフォーマンス (ロールアップ)

**汎用パブリケーション パフォーマンスのロールアップ**

汎用パブリケーション パフォーマンスのロールアップ

**仮想パブリケーション ホスト パフォーマンスのロールアップ**

仮想パブリケーション ホスト パフォーマンスのロールアップ

**仮想パブリケーション ホスト構成のロールアップ**

仮想パブリケーション ホスト構成のロールアップ

**仮想パブリケーション ホスト セキュリティのロールアップ**

仮想パブリケーション ホスト セキュリティのロールアップ

**汎用パブリッシャー可用性のロールアップ**

汎用パブリッシャー可用性のロールアップ

**システム エンティティ セキュリティのロールアップ**

システム エンティティ セキュリティのロールアップ

**データベース セキュリティのロールアップ**

データベース セキュリティのロールアップ

**データベース可用性のロールアップ**

データベース可用性のロールアップ

**システム エンティティ可用性のロールアップ**

システム エンティティ可用性のロールアップ

**汎用パブリケーション セキュリティのロールアップ**

汎用パブリケーション セキュリティのロールアップ

**データベース構成のロールアップ**

データベース構成のロールアップ

**汎用パブリッシャー構成のロールアップ**

汎用パブリッシャー構成のロールアップ

**システム エンティティ構成のロールアップ**

システム エンティティ構成のロールアップ

**システム エンティティ パフォーマンスのロールアップ**

システム エンティティ パフォーマンスのロールアップ

**汎用パブリッシャー セキュリティのロールアップ**

汎用パブリッシャー セキュリティのロールアップ

**仮想パブリケーション ホスト可用性のロールアップ**

仮想パブリケーション ホスト可用性のロールアップ

**汎用パブリッシャー パフォーマンスのロールアップ**

汎用パブリッシャー パフォーマンスのロールアップ

**汎用パブリケーション可用性のロールアップ**

汎用パブリケーション可用性のロールアップ

**MSSQL: 汎用レプリケーション仮想サブスクライバー**

仮想サブスクライバー。

**MSSQL: 汎用レプリケーション仮想サブスクライバー - 検出**

**MSSQL: 汎用レプリケーション データベース ヘルスの検出**

オブジェクト検出は、パブリッシュされたデータベースに関連する集計正常性コンテナーおよびオブジェクトの関係を検出します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | タイムアウト (秒) | 15 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | |  |
|  |  |  |

**MSSQL: 汎用レプリケーション仮想サブスクライバー - 依存関係 (ロールアップ) モニター**

**システム エンティティ セキュリティのロールアップ**

システム エンティティ セキュリティのロールアップ

**システム エンティティ構成のロールアップ**

システム エンティティ構成のロールアップ

**システム エンティティ可用性のロールアップ**

システム エンティティ可用性のロールアップ

**汎用サブスクライバー セキュリティのロールアップ**

汎用サブスクライバー セキュリティのロールアップ

**仮想サブスクリプション セキュリティのロールアップ**

仮想サブスクリプション セキュリティのロールアップ

**システム エンティティ パフォーマンスのロールアップ**

システム エンティティ パフォーマンスのロールアップ

**汎用サブスクライバー パフォーマンスのロールアップ**

汎用サブスクライバー パフォーマンスのロールアップ

**汎用サブスクライバー構成のロールアップ**

汎用サブスクライバー構成のロールアップ

**汎用サブスクライバー可用性のロールアップ**

汎用サブスクライバー可用性のロールアップ

**仮想サブスクリプション可用性のロールアップ**

仮想サブスクリプション可用性のロールアップ

**汎用サブスクリプション構成のロールアップ**

汎用サブスクリプション構成のロールアップ

**仮想サブスクリプション パフォーマンスのロールアップ**

仮想サブスクリプション パフォーマンスのロールアップ

**MSSQL: 汎用レプリケーション仮想サブスクライバー ホスト**

仮想サブスクライバー ホスト。

**MSSQL: 汎用レプリケーション仮想サブスクライバー ホスト- 検出**

**MSSQL: 汎用レプリケーション データベース ヘルスの検出**

オブジェクト検出は、パブリッシュされたデータベースに関連する集計正常性コンテナーおよびオブジェクトの関係を検出します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | タイムアウト (秒) | 15 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | |  |
|  |  |  |

**MSSQL: 汎用レプリケーション仮想サブスクライバー ホスト - 依存関係 (ロールアップ) モニター**

**仮想サブスクライバー可用性のロールアップ**

仮想サブスクライバー可用性のロールアップ

**仮想サブスクライバー構成のロールアップ**

仮想サブスクライバー構成のロールアップ

**仮想サブスクライバー パフォーマンスのロールアップ**

仮想サブスクライバー パフォーマンスのロールアップ

**仮想サブスクライバー セキュリティのロールアップ**

仮想サブスクライバー セキュリティのロールアップ

**MSSQL: 汎用レプリケーション仮想サブスクリプション**

仮想サブスクリプション。

**MSSQL: 汎用レプリケーション仮想サブスクリプション - 検出**

**MSSQL: 汎用レプリケーション データベース ヘルスの検出**

オブジェクト検出は、パブリッシュされたデータベースに関連する集計正常性コンテナーおよびオブジェクトの関係を検出します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | タイムアウト (秒) | 15 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | |  |
|  |  |  |

**MSSQL: 汎用レプリケーション仮想サブスクリプション - 依存関係 (ロールアップ) モニター**

**汎用サブスクリプション セキュリティのロールアップ**

汎用サブスクリプション セキュリティのロールアップ

**汎用サブスクリプション構成のロールアップ**

汎用サブスクリプション構成のロールアップ

**汎用サブスクリプション パフォーマンスのロールアップ**

汎用サブスクリプション パフォーマンスのロールアップ

**汎用サブスクリプション可用性のロールアップ**

汎用サブスクリプション可用性のロールアップ

**パブリッシャー グループ**

パブリッシャー グループはパブリッシャーのグループです

**パブリッシャー グループ - 検出**

**パブリッシャー グループ メンバーシップの検出**

パブリッシャー グループでのメンバーシップの検出

**パブリッシャー グループ - 依存関係 (ロールアップ) モニター**

**パブリッシャー グループの汎用パブリッシャー セキュリティのロールアップ**

パブリッシャー グループの汎用パブリッシャー セキュリティのロールアップ

**パブリッシャー グループの汎用パブリッシャー可用性のロールアップ**

パブリッシャー グループの汎用パブリッシャー可用性のロールアップ

**パブリッシャー グループの汎用パブリッシャー パフォーマンスのロールアップ**

パブリッシャー グループの汎用パブリッシャー パフォーマンスのロールアップ

**パブリッシャー グループの汎用パブリッシャー構成のロールアップ**

パブリッシャー グループの汎用パブリッシャー構成のロールアップ

**パブリッシャー インスタンス グループ**

パブリッシャー インスタンス グループは、パブリッシャーのすべての SQL Server インスタンスを含むグループです

**パブリッシャー インスタンス グループ - 依存関係 (ロールアップ) モニター**

**パブリッシャー インスタンス グループの汎用パブリッシャー構成のロールアップ**

パブリッシャー インスタンス グループの汎用パブリッシャー構成のロールアップ

**パブリッシャー インスタンス グループのインスタンス パフォーマンスのロールアップ**

パブリッシャー インスタンス グループのインスタンス パフォーマンスのロールアップ

**パブリッシャー インスタンス グループのインスタンス セキュリティのロールアップ**

パブリッシャー インスタンス グループのインスタンス セキュリティのロールアップ

**パブリッシャー インスタンス グループの汎用パブリッシャー パフォーマンスのロールアップ**

パブリッシャー インスタンス グループの汎用パブリッシャー パフォーマンスのロールアップ

**パブリッシャー インスタンス グループのインスタンス可用性のロールアップ**

パブリッシャー インスタンス グループのインスタンス可用性のロールアップ

**パブリッシャー インスタンス グループの汎用パブリッシャー セキュリティのロールアップ**

パブリッシャー インスタンス グループの汎用パブリッシャー セキュリティのロールアップ

**パブリッシャー インスタンス グループの汎用パブリッシャー可用性のロールアップ**

パブリッシャー インスタンス グループの汎用パブリッシャー可用性のロールアップ

**パブリッシャー インスタンス グループのインスタンス構成のロールアップ**

パブリッシャー インスタンス グループのインスタンス構成のロールアップ

**レプリケーション データベース ヘルス**

このクラスは、1 つのパブリッシャー データベースにリンクされているパブリッシャー、ディストリビューターおよびサブスクライバーをグループ化するために使用される動的なアプリケーションです。

**レプリケーション データベース ヘルス - 検出**

**レプリケーション データベース ヘルスの検出**

オブジェクト検出は、パブリッシュされたデータベースに関連する集計正常性コンテナーおよびオブジェクトの関係を検出します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | タイムアウト (秒) | 15 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | |  |
|  |  |  |

**レプリケーション データベース ヘルス - 依存関係 (ロールアップ) モニター**

**仮想サブスクライバー ホスト可用性のロールアップ**

仮想サブスクライバー ホスト可用性のロールアップ

**仮想パブリッシャー構成のロールアップ**

仮想パブリッシャー構成のロールアップ

**仮想パブリッシャー可用性のロールアップ**

仮想パブリッシャー可用性のロールアップ

**仮想ディストリビューター可用性のロールアップ**

仮想ディストリビューター可用性のロールアップ

**仮想パブリッシャー パフォーマンスのロールアップ**

仮想パブリッシャー パフォーマンスのロールアップ

**仮想パブリッシャー セキュリティのロールアップ**

仮想パブリッシャー セキュリティのロールアップ

**仮想サブスクライバー ホスト構成のロールアップ**

仮想サブスクライバー ホスト構成のロールアップ

**仮想ディストリビューター セキュリティのロールアップ**

仮想ディストリビューター セキュリティのロールアップ

**仮想サブスクライバー ホスト パフォーマンスのロールアップ**

仮想サブスクライバー ホスト パフォーマンスのロールアップ

**仮想ディストリビューター パフォーマンスのロールアップ**

仮想ディストリビューター パフォーマンスのロールアップ

**仮想ディストリビューター構成のロールアップ**

仮想ディストリビューター構成のロールアップ

**仮想サブスクライバー ホスト セキュリティのロールアップ**

仮想サブスクライバー ホスト セキュリティのロールアップ

**レプリケーション データベース ヘルス グループ**

レプリケーション データベース ヘルス グループは、レプリケーション データベース ヘルス オブジェクトのグループです

**レプリケーション データベース ヘルス グループ - 検出**

**レプリケーション ライブラリ データベース ヘルス グループ メンバーシップの検出**

レプリケーション ライブラリ データベース ヘルス グループのメンバーシップの検出

**レプリケーション フロー グループ**

このグループは、パブリッシャー、ディストリビューターおよびサブスクライバーのコレクションです。これには、System Center Operations Manager データベースにあるレプリケーションと関係するすべてのオブジェクトが含まれます。

**レプリケーション フロー グループ - 検出**

**レプリケーション フロー グループの検出**

レプリケーション フロー グループでのメンバーシップの検出

**レプリケーション フロー グループ - 依存関係 (ロールアップ) モニター**

**レプリケーション フロー グループのサブスクライバー インスタンス グループ可用性のロールアップ**

レプリケーション フロー グループのサブスクライバー インスタンス グループ可用性のロールアップ

**レプリケーション フロー グループのサブスクライバー グループ可用性のロールアップ**

レプリケーション フロー グループのサブスクライバー グループ可用性のロールアップ

**レプリケーション フロー グループのディストリビューター グループ可用性のロールアップ**

レプリケーション フロー グループのディストリビューター グループ可用性のロールアップ

**レプリケーション フロー グループのパブリッシャー グループ パフォーマンスのロールアップ**

レプリケーション フロー グループのパブリッシャー グループ パフォーマンスのロールアップ

**レプリケーション フロー グループのディストリビューター グループ構成のロールアップ**

レプリケーション フロー グループのディストリビューター グループ構成のロールアップ

**レプリケーション フロー グループのディストリビューター インスタンス グループ セキュリティのロールアップ**

レプリケーション フロー グループのディストリビューター インスタンス グループ セキュリティのロールアップ

**レプリケーション フロー グループのディストリビューター インスタンス グループ可用性のロールアップ**

レプリケーション フロー グループのディストリビューター インスタンス グループ可用性のロールアップ

**レプリケーション フロー グループのパブリッシャー インスタンス グループ パフォーマンスのロールアップ**

レプリケーション フロー グループのパブリッシャー インスタンス グループ パフォーマンスのロールアップ

**レプリケーション フロー グループのサブスクライバー グループ パフォーマンスのロールアップ**

レプリケーション フロー グループのサブスクライバー グループ パフォーマンスのロールアップ

**レプリケーション フロー グループのパブリッシャー インスタンス グループ可用性のロールアップ**

レプリケーション フロー グループのパブリッシャー インスタンス グループ可用性のロールアップ

**レプリケーション フロー グループのサブスクライバー グループ セキュリティのロールアップ**

レプリケーション フロー グループのサブスクライバー グループ セキュリティのロールアップ

**レプリケーション フロー グループのサブスクライバー インスタンス グループ構成のロールアップ**

レプリケーション フロー グループのサブスクライバー インスタンス グループ構成のロールアップ

**レプリケーション フロー グループのパブリッシャー グループ可用性のロールアップ**

レプリケーション フロー グループのパブリッシャー グループ可用性のロールアップ

**レプリケーション フロー グループのサブスクライバー インスタンス グループ セキュリティのロールアップ**

レプリケーション フロー グループのサブスクライバー インスタンス グループ セキュリティのロールアップ

**レプリケーション フロー グループのサブスクライバー インスタンス グループ パフォーマンスのロールアップ**

レプリケーション フロー グループのサブスクライバー インスタンス グループ パフォーマンスのロールアップ

**レプリケーション フロー グループのパブリッシャー グループ構成のロールアップ**

レプリケーション フロー グループのパブリッシャー グループ構成のロールアップ

**レプリケーション フロー グループのパブリッシャー インスタンス グループ構成のロールアップ**

レプリケーション フロー グループのパブリッシャー インスタンス グループ構成のロールアップ

**レプリケーション フロー グループのディストリビューター グループ セキュリティのロールアップ**

レプリケーション フロー グループのディストリビューター グループ セキュリティのロールアップ

**レプリケーション フロー グループのサブスクライバー グループ構成のロールアップ**

レプリケーション フロー グループのサブスクライバー グループ構成のロールアップ

**レプリケーション フロー グループのディストリビューター インスタンス グループ パフォーマンスのロールアップ**

レプリケーション フロー グループのディストリビューター インスタンス グループ パフォーマンスのロールアップ

**レプリケーション フロー グループのパブリッシャー インスタンス グループ セキュリティのロールアップ**

レプリケーション フロー グループのパブリッシャー インスタンス グループ セキュリティのロールアップ

**レプリケーション フロー グループのパブリッシャー グループ セキュリティのロールアップ**

レプリケーション フロー グループのパブリッシャー グループ セキュリティのロールアップ

**レプリケーション フロー グループのディストリビューター インスタンス グループ構成のロールアップ**

レプリケーション フロー グループのディストリビューター インスタンス グループ構成のロールアップ

**レプリケーション フロー グループのディストリビューター グループ パフォーマンスのロールアップ**

レプリケーション フロー グループのディストリビューター グループ パフォーマンスのロールアップ

**SQL Server アラート スコープ グループ**

SQL Server アラート スコープ グループには、SQL Server のオブジェクトのうち、アラートを生成する可能性のあるものが含まれます。

**SQL Server アラート スコープ グループ - 検出**

**MSSQL: レプリケーション警告スコープ グループの検出**

警告スコープ グループの検出

**SQL Server アラート スコープ グループ**

SQL Server アラート スコープ グループには、SQL Server のオブジェクトのうち、アラートを生成する可能性のあるものが含まれます。

**SQL Server アラート スコープ グループ - 検出**

**レプリケーション警告スコープ グループの検出**

警告スコープ グループの検出

**SQL Server レプリケーション警告スコープ グループ**

SQL Server レプリケーション警告スコープ グループには、警告を生成する SQL Server オブジェクトが含まれます。

**SQL Server レプリケーション警告スコープ グループ - 検出**

**レプリケーション警告スコープ グループの検出**

警告スコープ グループの検出

**サブスクライバー グループ**

サブスクライバー グループはすべてのサブスクライバーを含むグループです

**サブスクライバー グループ - 検出**

**サブスクライバー グループ メンバーシップの検出**

サブスクライバー グループでのメンバーシップの検出

**サブスクライバー グループ - 依存関係 (ロールアップ) モニター**

**サブスクライバー グループの汎用サブスクライバー構成のロールアップ**

サブスクライバー グループの汎用サブスクライバー構成のロールアップ

**サブスクライバー グループの汎用サブスクライバー セキュリティのロールアップ**

サブスクライバー グループの汎用サブスクライバー セキュリティのロールアップ

**サブスクライバー グループの汎用サブスクライバー可用性のロールアップ**

サブスクライバー グループの汎用サブスクライバー可用性のロールアップ

**サブスクライバー グループの汎用サブスクライバー パフォーマンスのロールアップ**

サブスクライバー グループの汎用サブスクライバー パフォーマンスのロールアップ

**サブスクライバー インスタンス グループ**

サブスクライバー インスタンス グループは、サブスクライバーのすべての SQL Server インスタンスを含むグループです

**サブスクライバー インスタンス グループ - 依存関係 (ロールアップ) モニター**

**サブスクライバー インスタンス グループの汎用サブスクライバー パフォーマンスのロールアップ**

サブスクライバー インスタンス グループの汎用サブスクライバー パフォーマンスのロールアップ

**サブスクライバー インスタンス グループの汎用サブスクライバー構成のロールアップ**

サブスクライバー インスタンス グループの汎用サブスクライバー構成のロールアップ

**サブスクライバー インスタンス グループのインスタンス パフォーマンスのロールアップ**

サブスクライバー インスタンス グループのインスタンス パフォーマンスのロールアップ

**サブスクライバー インスタンス グループの汎用サブスクライバー可用性のロールアップ**

サブスクライバー インスタンス グループの汎用サブスクライバー可用性のロールアップ

**サブスクライバー インスタンス グループのインスタンス構成のロールアップ**

サブスクライバー インスタンス グループのインスタンス構成のロールアップ

**サブスクライバー インスタンス グループのインスタンス可用性のロールアップ**

サブスクライバー インスタンス グループのインスタンス可用性のロールアップ

**サブスクライバー インスタンス グループのインスタンス セキュリティのロールアップ**

サブスクライバー インスタンス グループのインスタンス セキュリティのロールアップ

**サブスクライバー インスタンス グループの汎用サブスクライバー セキュリティのロールアップ**

サブスクライバー インスタンス グループの汎用サブスクライバー セキュリティのロールアップ

**仮想ディストリビューター**

仮想ディストリビューター。

**仮想ディストリビューター - 検出**

**レプリケーション データベース ヘルスの検出**

オブジェクト検出は、パブリッシュされたデータベースに関連する集計正常性コンテナーおよびオブジェクトの関係を検出します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | タイムアウト (秒) | 15 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | |  |
|  |  |  |

**仮想ディストリビューター - ユニット モニター**

**ディストリビューターに関して検出されたすべてのパブリッシャー**

このモニターは、ディストリビューターに関してすべてのパブリッシャーが検出されたことを確認します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**仮想ディストリビューター - 依存関係 (ロールアップ) モニター**

**汎用ディストリビューター構成のロールアップ**

汎用ディストリビューター構成のロールアップ

**コンピューター ロール セキュリティのロールアップ**

コンピューター ロール セキュリティのロールアップ

**コンピューター ロール構成のロールアップ**

コンピューター ロール構成のロールアップ

**汎用ディストリビューター可用性のロールアップ**

汎用ディストリビューター可用性のロールアップ

**汎用ディストリビューター セキュリティのロールアップ**

汎用ディストリビューター セキュリティのロールアップ

**コンピューター ロール可用性のロールアップ**

コンピューター ロール可用性のロールアップ

**データベース可用性のロールアップ**

データベース可用性のロールアップ

**汎用ディストリビューター パフォーマンスのロールアップ**

汎用ディストリビューター パフォーマンスのロールアップ

**データベース パフォーマンス (ロールアップ)**

データベース パフォーマンス (ロールアップ)

**データベース セキュリティのロールアップ**

データベース セキュリティのロールアップ

**データベース構成のロールアップ**

データベース構成のロールアップ

**コンピューター ロール パフォーマンスのロールアップ**

コンピューター ロール パフォーマンスのロールアップ

**仮想パブリケーション ホスト**

仮想パブリケーション ホスト。

**仮想パブリケーション ホスト - 検出**

**レプリケーション データベース ヘルスの検出**

オブジェクト検出は、パブリッシュされたデータベースに関連する集計正常性コンテナーおよびオブジェクトの関係を検出します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | タイムアウト (秒) | 15 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | |  |
|  |  |  |

**仮想パブリケーション ホスト- 依存関係 (ロールアップ) モニター**

**汎用パブリケーション パフォーマンスのロールアップ**

汎用パブリケーション パフォーマンスのロールアップ

**汎用パブリケーション構成のロールアップ**

汎用パブリケーション構成のロールアップ

**汎用パブリケーション セキュリティのロールアップ**

汎用パブリケーション セキュリティのロールアップ

**汎用パブリケーション可用性のロールアップ**

汎用パブリケーション可用性のロールアップ

**仮想パブリッシャー**

仮想パブリッシャー。

**仮想パブリッシャー - 検出**

**レプリケーション データベース ヘルスの検出**

オブジェクト検出は、パブリッシュされたデータベースに関連する集計正常性コンテナーおよびオブジェクトの関係を検出します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | タイムアウト (秒) | 15 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | |  |
|  |  |  |

**仮想パブリケーション - 依存関係 (ロールアップ) モニター**

**コンピューター ロール セキュリティのロールアップ**

コンピューター ロール セキュリティのロールアップ

**汎用パブリケーション パフォーマンスのロールアップ**

汎用パブリケーション パフォーマンスのロールアップ

**汎用パブリッシャー セキュリティのロールアップ**

汎用パブリッシャー セキュリティのロールアップ

**汎用パブリッシャー パフォーマンスのロールアップ**

汎用パブリッシャー パフォーマンスのロールアップ

**仮想パブリケーション ホスト可用性のロールアップ**

仮想パブリケーション ホスト可用性のロールアップ

**仮想パブリケーション ホスト パフォーマンスのロールアップ**

仮想パブリケーション ホスト パフォーマンスのロールアップ

**データベース パフォーマンス (ロールアップ)**

データベース パフォーマンス (ロールアップ)

**汎用パブリケーション構成のロールアップ**

汎用パブリケーション構成のロールアップ

**汎用パブリッシャー可用性のロールアップ**

汎用パブリッシャー可用性のロールアップ

**コンピューター ロール構成のロールアップ**

コンピューター ロール構成のロールアップ

**汎用パブリケーション セキュリティのロールアップ**

汎用パブリケーション セキュリティのロールアップ

**データベース構成のロールアップ**

データベース構成のロールアップ

**仮想パブリケーション ホスト セキュリティのロールアップ**

仮想パブリケーション ホスト セキュリティのロールアップ

**データベース セキュリティのロールアップ**

データベース セキュリティのロールアップ

**汎用パブリッシャー構成のロールアップ**

汎用パブリッシャー構成のロールアップ

**仮想パブリケーション ホスト構成のロールアップ**

仮想パブリケーション ホスト構成のロールアップ

**汎用パブリケーション可用性のロールアップ**

汎用パブリケーション可用性のロールアップ

**コンピューター ロール パフォーマンスのロールアップ**

コンピューター ロール パフォーマンスのロールアップ

**コンピューター ロール可用性のロールアップ**

コンピューター ロール可用性のロールアップ

**データベース可用性のロールアップ**

データベース可用性のロールアップ

**仮想レプリケーション警告スコープ グループ**

仮想レプリケーション警告スコープ グループには、警告を生成する仮想レプリケーション オブジェクトが含まれます。

**仮想レプリケーション警告スコープ グループ - 検出**

**仮想レプリケーション警告スコープ グループの検出**

仮想警告スコープ グループの検出

**仮想サブスクライバー**

仮想サブスクライバー。

**仮想サブスクライバー - 検出**

**レプリケーション データベース ヘルスの検出**

オブジェクト検出は、パブリッシュされたデータベースに関連する集計正常性コンテナーおよびオブジェクトの関係を検出します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | タイムアウト (秒) | 15 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | |  |
|  |  |  |

**仮想サブスクライバー - 依存関係 (ロールアップ) モニター**

**汎用サブスクライバー パフォーマンスのロールアップ**

汎用サブスクライバー パフォーマンスのロールアップ

**汎用サブスクリプション構成のロールアップ**

汎用サブスクリプション構成のロールアップ

**仮想サブスクリプション セキュリティのロールアップ**

仮想サブスクリプション セキュリティのロールアップ

**コンピューター ロール可用性のロールアップ**

コンピューター ロール可用性のロールアップ

**汎用サブスクライバー可用性のロールアップ**

汎用サブスクライバー可用性のロールアップ

**コンピューター ロール セキュリティのロールアップ**

コンピューター ロール セキュリティのロールアップ

**コンピューター ロール構成のロールアップ**

コンピューター ロール構成のロールアップ

**汎用サブスクライバー セキュリティのロールアップ**

汎用サブスクライバー セキュリティのロールアップ

**汎用サブスクライバー構成のロールアップ**

汎用サブスクライバー構成のロールアップ

**仮想サブスクリプション可用性のロールアップ**

仮想サブスクリプション可用性のロールアップ

**コンピューター ロール パフォーマンスのロールアップ**

コンピューター ロール パフォーマンスのロールアップ

**仮想サブスクリプション パフォーマンスのロールアップ**

仮想サブスクリプション パフォーマンスのロールアップ

**仮想サブスクライバー ホスト**

仮想サブスクライバー ホスト。

**仮想サブスクライバー ホスト - 検出**

**レプリケーション データベース ヘルスの検出**

オブジェクト検出は、パブリッシュされたデータベースに関連する集計正常性コンテナーおよびオブジェクトの関係を検出します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | タイムアウト (秒) | 15 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | |  |
|  |  |  |

**仮想サブスクライバー ホスト - 依存関係 (ロールアップ) モニター**

**仮想サブスクライバー構成のロールアップ**

仮想サブスクライバー構成のロールアップ

**仮想サブスクライバー可用性のロールアップ**

仮想サブスクライバー可用性のロールアップ

**仮想サブスクライバー パフォーマンスのロールアップ**

仮想サブスクライバー パフォーマンスのロールアップ

**仮想サブスクライバー セキュリティのロールアップ**

仮想サブスクライバー セキュリティのロールアップ

**仮想サブスクリプション**

仮想サブスクリプション。

**仮想サブスクリプション - 検出**

**レプリケーション データベース ヘルスの検出**

オブジェクト検出は、パブリッシュされたデータベースに関連する集計正常性コンテナーおよびオブジェクトの関係を検出します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | タイムアウト (秒) | 15 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | |  |
|  |  |  |

**仮想サブスクリプション - 依存関係 (ロールアップ) モニター**

**汎用サブスクリプション可用性のロールアップ**

汎用サブスクリプション可用性のロールアップ

**汎用サブスクリプション セキュリティのロールアップ**

汎用サブスクリプション セキュリティのロールアップ

**汎用サブスクリプション パフォーマンスのロールアップ**

汎用サブスクリプション パフォーマンスのロールアップ

**汎用サブスクリプション構成のロールアップ**

汎用サブスクリプション構成のロールアップ

## 付録: 既知の問題とトラブルシューティング

**"概要" ダッシュボード ビューの "SQL Server レプリケーション データベース ヘルス" 仮想グループが空である可能性がある**

**問題:** 構成済みの SQL レプリケーションが検出された場合でも、"概要" ダッシュボード ビューの "SQL Server レプリケーション データベース ヘルス" 仮想グループが空である可能性があります。

**解決方法:** "MSSQL: 汎用レプリケーション データベース ヘルス" クラス オブジェクトを含む標準グループを作成して、Operations Manager コンソールを再起動します。